# 第1章 県内外の「コンベンション・展示機能を備える施設」の調査

#### 1 対象施設の選定について(県外施設)

#### (1) 調査概要

国内に「コンベンション・展示機能を備える施設」(以下,「MICE 施設 (※1)」と言う。)は 約 380 施設 (※2) と数多く存在する状況において,本県として初めて同施設に関する具体的な 調査を行うに当たっては,時間的かつ費用的な制約がある中で,全国の様々な施設の基礎的・網羅的な調査に加え,詳細かつ有意な情報を収集することが必要である。

また、コンベンション・展示会(以下、「MICE (※1)」と言う。)の開催需要に応じた規模での検討が重要となるため、国内にある約 380 の MICE 施設の中から、開催需要と各都道府県規模の関係性等を整理した上で、一定の条件を設定し、施設を抽出する。

このことから、本調査においては、以下のとおり「概要調査」と「詳細調査」の2段階に分けて調査を実施する。

区分	内容	対象施設数
概要調査	全国の MICE 施設の中から、基礎的な情報を収集するために、一定の条件で抽出し、網羅的に実施する調査	67 施設
詳細調査	概要調査の対象施設の中から、詳細かつ有意な情報を得るために、さらに抽出し、深堀して実施する調査	17 施設

#### (2) 概要調査

概要調査の対象施設の抽出に当たっては、同施設に関する明確な定義がないため、「日本コンベンション都市ガイド(2021年2月改訂版)」(\*\*3)により、"観点 1:施設名に「国際会議」「コンベンション」が含まれる施設"、"観点 2:施設名に「展示」「メッセ」が含まれる施設"を抽出した。また、これらの他に、"観点 3:観点 1 · 2 の施設以外で、主に MICE 利用されている施設」"を独自に抽出した。

観点1:施設名に「国際会議 | 「コンベンション」が含まれる施設(23 施設)

No.	施設名	No.	施設名
1	札幌コンベンションセンター	13	岡山コンベンションセンター
2	つくば国際会議場	14	広島国際会議場
3	富山国際会議場	15	広島コンベンションホール
4	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ	16	かがわ国際会議場
5	長良川国際会議場	17	福岡国際会議場
6	名古屋国際会議場	18	北九州国際会議場
7	大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)	19	長崎ブリックホール国際会議場
8	ナレッシ゛キャヒ゜タルコンク゛レコンヘ゛ンションセンター	20	別府国際コンペンションセンター(B-ConPlaza)
9	神戸国際会議場	21	KITEN ビルコンベンションホール
10	姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)	22	シーガイアコンベンションセンター
11	国際会議場ポートピアホール	23	沖縄コンベンションセンター
12	奈良県コンベンションセンター		

### 観点2:施設名に「展示」「メッセ」が含まれる施設(19施設)

No	施設名	No.	施設名
1	青森産業展示館	11	神戸国際展示場
2	東京国際展示場(東京ビッグサイト)	12	島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)
3	夢メッセみやぎ(みやぎ産業交流センター)	13	海峡メッセ下関(山口県国際総合センター)
4	幕張メッセ	14	サンメッセかがわ
5	朱鷺メッセ(新潟コンペンションセンター)	15	マリンメッセ福岡
6	富山産業展示館(テクノホール)	16	博多国際展示場&カンファレンスセンター
7	ツインメッセ静岡	17	西日本総合展示場
8	浜松市総合産業展示館	18	出島メッセ長崎
9	名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)	19	熊本産業展示場(グランメッセ熊本)
10	京都市勧業館みやこめっせ		

### 観点3:上記以外で主に MICE 利用されている施設(28 施設)

No.	施設名	No.	施設名
1	仙台国際センター	15	石川県産業展示館
2	横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)	16	福井県産業会館
3	国立京都国際会館	17	山梨県立産業展示交流館(アイメッセ山梨)
4	淡路夢舞台国際会議場	18	林友ホール
5	奈良春日野国際フォーラム 甍~I・RA・KA~	19	セラミックパーク MINO
6	アクロス福岡	20	愛知国際展示場(Aichi Sky Expo)
7	熊本城ホール	21	大阪国際見本市会場(インテックス大阪)
8	札幌流通総合会館 (アクセスサッポロ)	22	米子コンベンションセンター (ピッグシップ)
9	岩手産業文化センター(アピオ)	23	岡山県総合展示場コンベックス岡山
10	山形国際交流プラザ(山形ピック゚ウィンク゚)	24	広島県立広島産業会館
11	福島県産業交流館(ビッグパレットふくしま)	25	徳島県立産業観光交流センター(アスティとくしま)
12	栃木県立宇都宮産業展示館(マロニエプラザ)	26	愛媛国際貿易センター(アイテムえひめ)
13	群馬コンベンションセンター(G メッセ群馬)	27	高知ぢばさんセンター
14	埼玉県産業文化センター(ソニックシティ)	28	エムアールティ・ミック

### ≪観点3の抽出基準≫

### ① 国際会議の開催件数が多い施設 (7 施設)

「JNTO 国際会議統計」(※4) 資料編3より過去10年間(2010年~19年)で鹿児島県全体の開催件数(81件)より多い施設を抽出。7熊本城ホール(令和元年12月開業)は最近開業し、多くの利用が見込まれるため追加抽出。

#### ② 各都道府県で展示面積が最大の施設(21 施設)

全国会場 Navi2021 年版 (\*\*5) の大規模展示施設及び中小規模展示施設より,各都道府県で最大の施設を抽出  $*(1 \cdot 2)$  ともに,既に観点  $1 \cdot 2$  で抽出した施設を除く

<sup>※1:</sup>本調査における「MICE」は、施設検討という観点から、比較的規模の大きいコンベンション(C)及び展示会(E)を軸として整理するものとする。

<sup>※2: 「</sup>日本コンベンション都市ガイド (2021年2月改訂版) | による

<sup>※3:</sup>日本の公的な専門機関である JNTO (日本政府観光局) がコンベンション会場の候補選定や計画策定のために有用な情報 として取りまとめた資料

<sup>※4:</sup>JNTO が発行する国内唯一の国際会議に関する統計資料

<sup>※5:㈱</sup>ピーオーピーが発行する全国の平土間会場を最も広範に掲載する資料

神戸国際会議場(観点1:No.9)・神戸国際展示場(観点2:No.11),福岡国際会議場(観点1:No.17)・マリンメッセ福岡(観点2:No.15),北九州国際会議場(観点1:No.18)・西日本総合展示場(観点2:No.17)は一体の施設として整理することにより、概要調査の合計は67施設となる。

#### (3) 詳細調査

概要調査対象施設の構成や開催実績等から、各施設が想定する主たる利用目的について、コンベンションを想定している施設(以下、「コンベンション施設」と言う。)と、展示会を想定している施設(以下、「展示施設」と言う。)に分類する。なお、あくまで「主たる」もので分類しており、コンベンションを主としながらも、展示機能も備えている施設や、展示を主としながらもコンベンション機能を備えている施設も存在する。

#### ア コンベンション施設

(ア) コンベンション開催件数と県の人口規模の関係性

国際会議統計を用いて、コンベンションの開催件数と県の人口規模の関係性について、 整理する。

a 2010~19年の都道府県別の国際会議開催件数 2010~19年の各都道府県の国際会議の開催件数は以下のとおりである。

図表1-1 国際会議統計における都道府県別の開催件数

順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数
1	東京都	5,671	17	新潟県	238	33	滋賀県	37
2	福岡県	3,826	18	静岡県	174	34	大分県	36
3	京都府	2,516	19	富山県	150	35	福井県	35
4	大阪府	2,448	20	熊本県	126	36	山形県	33
5	兵庫県	2,290	21	福島県	103	37	青森県	28
6	神奈川県	1,998	22	岐阜県	103	38	群馬県	27
7	愛知県	1,802	23	埼玉県	92	39	山梨県	27
8	宮城県	1,092	24	長崎県	92	40	和歌山県	23
9	北海道	1,040	25	島根県	91	41	山口県	23
10	千葉県	800	26	鹿児島県	86	42	徳島県	22
11	広島県	731	27	長野県	80	43	佐賀県	18
12	茨城県	557	28	三重県	64	44	秋田県	17
13	奈良県	367	29	愛媛県	48	45	高知県	15
14	石川県	289	30	岩手県	47	46	鳥取県	12
15	沖縄県	288	31	宮崎県	41	47	栃木県	3
16	岡山県	276	32	香川県	39			

出所: JNTO 国際会議統計(2019年)より作成

<sup>※</sup>本調査では、JNTO 国際会議統計「本編」と「資料編3」のそれぞれに基づいて分析・作成しているものがある。 資料編3は公開データのみで構成されるため、開催件数が本編より少なくなる場合がある。

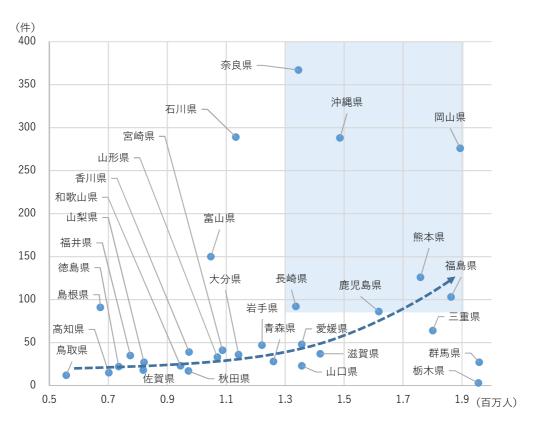
#### b 国際会議開催件数と都道府県の人口の関係性

国際会議開催件数と都道府県の人口の関係を分布図に示す。横軸が都道府県の人口, 縦軸が国際会議の開催件数である。一部の例外的な都道府県を除いて,概ね人口に比例 した開催件数となっていることがわかる。

すなわち、都道府県の人口と国際会議の需要量は一定程度比例関係にあり、コンベンション施設については、ある程度都道府県の人口を基準に、本県に必要な施設規模を導き出すことが可能であることを示している。

そのため、詳細調査においては、人口規模の近い都道府県の施設を調査することが、有意義な内容になると考えられる。

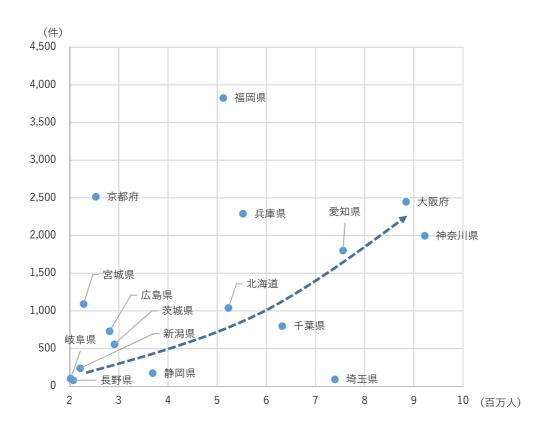
図表1-2 200万人未満の都道府県の国際会議開催件数と人口の分布



出所: JNTO 国際会議統計(2019年),総務省「令和3年1月1日住民基本台帳人口」より作成

<sup>※</sup>分布図表示の便宜上、人口 200 万人で区切って整理している。

図表 1 - 3 200 万人以上の都道府県の国際会議開催件数と人口の分布



出所: JNTO 国際会議統計 (2019年), 総務省「令和3年1月1日住民基本台帳人口」より作成

<sup>※</sup>分布図表示の便宜上,人口 200 万人で区切って整理している。また,極めて人口規模,国際会議開催件数の多い,東京都は表示していない。

# (イ) 人口規模の比較的近い都道府県に立地するコンベンション施設の抽出

(2)で抽出した施設のうち、本県(人口約 160 万人)と人口規模の近い都道府県(本県の人口の生約 30 万人である人口約 130~190 万人の県)のうち、本県よりも国際会議開催件数の多い福島県、奈良県、岡山県、長崎県、熊本県、沖縄県に立地する、コンベンション施設を対象に抽出する。

No	施設名	所在	至地	会場合計	最大会場
No.		都道府県	市町村	( <b>m</b> ²)	( <b>m</b> ²)
1	奈良県コンベンションセンター	奈良県	奈良市	4,370	2,100
2	岡山コンベンションセンター	岡山県	岡山市	2,948	745
3	出島メッセ長崎	長崎県	長崎市	8,920	3,800
4	熊本城ホール	熊本県	熊本市	6,546	2,304
5	沖縄コンベンションセンター	沖縄県	宜野湾市	5,736	2,500

※固定席の劇場ホールの面積については、面積の標記がある場合でも、1 席 1 ㎡として面積を算出している。控室等の諸室は含んでいない。(以下同様)

※奈良県と長崎県については、各県2施設が対象となるが、最近開業した奈良県コンベンションセンター(令和2年4月開業) と出島メッセ長崎(令和3年11月開業)が旧施設の課題点などを解決し、よりコンベンションに適した形で整備されているため、それらの施設を対象とした。

また,長期に渡る安定的な運営手法や施設の運営や誘致を一体的に行う手法などの特徴があり,本県の検討に当たり参考となると考えられる以下の施設を,詳細調査の対象に追加する。

No.	施設名	所在	地	会場合計	最大会場
IVO.	<b>心以</b> 有	都道府県	市町村	(m²)	$(\mathbf{m}^2)$
1	富山国際会議場	富山県	富山市	1,692	825
2	長良川国際会議場	岐阜県	岐阜市	2,753	1,684
3	島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)	島根県	松江市	6,557	4,018

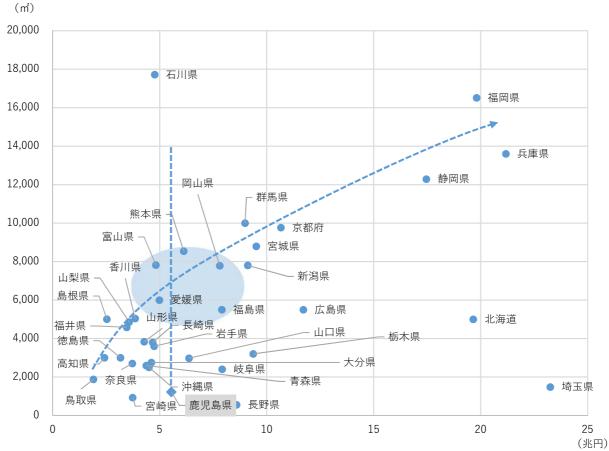
#### イ 展示施設

#### (ア) 展示施設の規模と都道府県の経済規模の関係性

展示施設は、都道府県の産業政策と深く結びついていることから、都道府県の経済規模と関係していると一般的には考えることができ、各都道府県の総展示面積が最も大きな展示施設と経済規模(県内総生産)との関係を分布図に示す。横軸が都道府県の県内総生産、縦軸が各都道府県の該当施設の総展示面積である。一部の例外的な都道府県を除いて、概ね経済規模に比例した総展示面積となっていることがわかる。

すなわち,都道府県の経済規模と展示施設の面積は一定程度比例関係にあり,展示施設については,ある程度都道府県の経済規模を基準に,本県に必要な施設規模を導き出すことが可能であることを示している。

そのため、詳細調査においては、本県と経済規模の近い都道府県の施設を調査することが、有意義な内容になると考えられる。



図表1-4 各都道府県の展示施設の総展示面積と経済規模の分布

出所:各施設 Web サイト,内閣府「国民経済計算統計表(県民経済計算) 平成30年度 県内総生産(生産側,名目)数値」より作成

※分布図表示の便宜上,極めて経済規模,施設規模の大きい,東京都,神奈川県,千葉県,愛知県,大阪府は表示していない。

#### (イ) 経済規模の比較的近い都道府県に立地する展示施設の抽出

(2)で抽出した施設のうち、本県(県内総生産(生産側、名目)約5兆5千億円)と 経済規模の近い都道府県にある施設のうち、総展示面積が標準的な分布範囲に位置する 福島県、富山県、岡山県、愛媛県、熊本県の展示施設を対象に抽出する。

No.	施設名	所在均	也	総展示面積	最大展示室
INO.		都道府県	市町村	(m²)	(m²)
1	福島県産業交流館(ビッグパレットふくしま)	福島県	福島市	5,495	5,495
2	富山産業展示館(テクノホール)	富山県	富山市	7,821	3,634
3	岡山県総合展示場コンベックス岡山	岡山県	岡山市	7,783	3,797
4	愛媛国際貿易センター(アイテムえひめ)	愛媛県	松山市	6,000	4,500
5	熊本産業展示場(グランメッセ熊本)	熊本県	益城町	8,544	8,000

※全国会場 Navi2021 年版の記載に準拠して、展示施設に分類される面積(会議室や付帯設備は含まない)のみ積算している。

また、最新の設備を有するなどの特徴があり、本県の検討に当たり参考となると考えられる以下の群馬コンベンションセンター (G メッセ群馬)(令和2年6月開業)を、対象に追加する。

Na	₩₽₽₽	所在地		総展示面積	最大展示室
No.	施設名	都道府県	市町村	$(\mathbf{m}^2)$	( <b>m</b> ²)
1	群馬コンベンションセンター(G メッセ群馬)	群馬県	高崎市	10,000	10,000

※全国会場 Navi2021 年版の記載に準拠して,展示施設に分類される面積 (会議室や付帯設備は含まない) のみ積算している。

なお、展示施設については、特に地方都市における施設は、多くが主となる会場(展示場)が最も大きな空間としてあり、付随して若干数の会議室(場合によっては第2展示場等がある場合もある)で構成される形がほとんどであるため、その施設の構成等にはそれほど大きな差異がない。そのため、抽出数が少なくても有意義な内容が得られるとともに、既にコンベンション施設として抽出した中にも展示機能を有している施設があることから、コンベンション施設と比較すると抽出数を少なくした。

#### ウ その他(コンプレックス施設)

MICE 施設として最も理想的な形態とされる,コンベンション機能・展示機能・宿泊機能などを併設するコンプレックス施設として,日本を代表する「横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)」と,九州を代表する「福岡コンベンションセンター(福岡国際会議場,マリンメッセ福岡,福岡国際センター)」,コンプレックス施設が立地する中では比較的人口や経済規模などが近い新潟県の「朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)」について,整備手法,運営手法や設備機能,様々なソフト面での取組などについて調査を行う。

# 工 詳細調査対象施設一覧(17施設)

# ≪コンベンション施設(8 施設)≫

	14 mm de	《コンペングョンル設(8 ル設)//
No.	施設名	定性的な評価 
1	富山国際会議場	<ul> <li>・日本でも古くからある国際会議場の一つ。</li> <li>・地方都市としては、多くの国際会議誘致を実現しており、本施設での開催件数も多い。</li> <li>・路面電車が走るなど都市のインフラ面でも本県と近いものがある。</li> <li>・長年にわたって安定的に運営されている。</li> <li>・メイン会場は固定席(ホール)タイプ。</li> </ul>
2	長良川国際会議場	<ul><li>・日本でも古くからある国際会議場の一つ。</li><li>・長年にわたって安定的に運営されている。</li><li>・周辺施設を一体的に連携させ MICE 誘致を目指す「世界イベント村ぎふ」というコンセプトを打ち出している。</li><li>・メイン会場は固定席(ホール)タイプ。</li></ul>
3	奈良県コンベンション センター	<ul><li>・国内最新のコンベンション施設の一つ。</li><li>・最新の整備手法や施設構成を取り入れている。</li><li>・国際会議開催件数が多いにも関わらず、フラッグシップとなる MICE 施設がなかったため、新たに整備された。</li><li>・メイン会場は平土間(多目的ホール)タイプ。</li></ul>
4	島根県立産業交流会館 (くにびきメッセ)	<ul><li>・都市規模としては小さく、アクセス性などの面からもかなり不利な条件にあるにも関わらず、多くの国際会議を開催している。</li><li>・施設の運営とコンベンションビューロー機能を担う財団法人を設立し、施設運営と誘致を一体的に行うことで、成功している国内でも数少ない施設である。</li><li>・展示機能も有している。</li></ul>
5	岡山コンベンションセ ンター	・市の第3セクターにより運営されている。 ・施設として積極的に MICE 誘致に取り組んでおり、安定的な運営に繋げている。 ・駅前すぐという立地特性もあり、都市規模に応じた規模感よりも小規模な施設。 ・機能強化をどのように行っていくかという議論を継続して行っている。
6	出島メッセ長崎	<ul><li>・同じ九州に位置し、福岡からのアクセス性なども含め、本県と比較的近い環境にある。</li><li>・国内最新のコンベンション施設の一つ。</li><li>・最新の整備手法や施設構成を取り入れている。</li><li>・市内の MICE 開催需要の集約化を目指して設置されている。</li><li>・展示機能も有している。メイン会場は平土間(多目的ホール)タイプ。</li></ul>
7	熊本城ホール	<ul><li>・都市再開発事業の一環として、音楽ホールを主としながらも、MICE 主催者視点でも使い勝手のよいように新たに整備された最新施設の一つ。</li><li>・メイン会場が固定席(ホール)タイプのコンベンション施設。</li><li>・最新の整備スキームや施設構成を取り入れている。</li></ul>
8	沖縄コンベンションセ ンター	・リゾート地、沖縄の港湾(マリーナ)に隣接して所在する施設。 ・沖縄と言う特殊な環境にあることを整備面、運営面いずれにおいても念頭におく 必要はあるが多くの MICE が開催されている施設の一つである。 ・体育館やホテルが同じ公園内に隣接しているなど、周辺施設との連携を考えて整備が行われている。 ・展示機能も有している。

# ≪展示施設(6 施設)≫

No.	施設名	定性的な評価
1	福島県産業交流館(ビッグパレットふくしま)	・福島県の経済都市郡山に立地する展示施設。 ・JETRO 福島の事務所が入るなど,産業振興の拠点として整備された。 ・JR の郡山貨物ターミナルに隣接している。 ・スタンダードな地方都市の展示施設である。
2	群馬コンベンションセンター(G メッセ群馬)	<ul><li>・国内最新の展示場。</li><li>・比較的古い施設が多い展示場において、最新の設備や施設構成などが導入されている。</li><li>・展示場としては、ターミナル駅から比較的近い点も、他とは異なる特徴である。</li></ul>
3	富山産業展示館(テクノホール)	<ul> <li>・2017年に増床(新展示棟の整備)をしている。</li> <li>・空港に近いという立地特性を持つ。</li> <li>・「ふるさとの味と技」をテーマに、常設展示場で県内全市町村の特産品・地場産品を紹介している。</li> <li>・コンベンション施設は別途整備されており、分設型となっている。</li> </ul>
4	岡山県総合展示場コン ベックス岡山	・岡山県や中国・四国地方の流通ターミナルである,岡山県総合流通センターに隣接している。 ・コンベンション施設は別途整備されており,分設型となっている。
5	愛媛国際貿易センター (アイテムえひめ)	・愛媛県の産業振興の拠点として整備された。 ・いくつかの産業団体や企業などが施設内に入居している。 ・比較的シンプルな構造が多い展示施設としては、珍しい形状の FA Z プラザという 円形中庭型の屋外展示スペースが特徴的。
6	熊本産業展示場(グランメッセ熊本)	・隣県である熊本県の展示施設。 ・コンベンション施設は市内に別途整備されており、分設型となっている。 ・高速のICからすぐの場所に立地している。

# ≪その他(コンプレックス)施設(3 施設)≫

N	lo.	施設名	定性的な評価
	1	横浜国際平和会議場 (パシフィコ横浜)	・港湾エリアに立地する,会議場・展示場・ホテルなどを併設するコンプレックス型施設の一つ。 ・日本の MICE 施設のトップランナーとして,最先端の取組を続けている施設であり,整備手法,運営手法や連携,施設機能等参考になる点が多い施設。
•	2	福岡コンベンションセンター(福岡国際会議場,マリンメッセ福岡, 福岡国際センター)	<ul> <li>・港湾エリアに立地する、会議場・展示場・ホテルなどが一群として整備されているコンプレックス型施設の一つ。</li> <li>・九州内において、最も MICE 需要の多い福岡県(福岡市)の施設である。</li> <li>・複数の施設を一つの財団法人が一体的に運営するという手法を採っている。</li> <li>・隣接しているホテルである福岡サンパレスは、宿泊施設としてはやや規模感が小さいがコンサートホールを有する国内でも珍しい宿泊施設である。</li> </ul>
	3	朱鷺メッセ(新潟コン ベンションセンター)	<ul> <li>・港湾エリアに立地する、会議場・展示場・ホテルなどを併設するコンプレックス型施設の一つ。</li> <li>・商業機能も含む複合開発を行った上で、第3セクター方式での運営を取り入れている。</li> <li>・運営会社の行政出資比率の引き下げの検討が進められるなど、今までにない動きがある。</li> </ul>

# 2 対象施設の選定について(県内施設)

県内施設については、一定程度の施設規模を有し、コンベンションや展示会が主に開催されている以下の施設を対象として調査を実施する。

No.	施設名	所在地	会場合計	最大会場
IVO.	心故有	市町村	(m²)	( <b>m</b> ²)
1	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	鹿児島市	3,926	2,730
2	鹿児島県総合体育センター体育館	鹿児島市	2,063	1,320
3	川商ホール(鹿児島市民文化ホール)	鹿児島市	3,546	1,990
4	宝山ホール(鹿児島県文化センター)	鹿児島市	2,784	1,522
5	城山ホテル鹿児島	鹿児島市	4,305	1,017
6	鹿児島サンロイヤルホテル	鹿児島市	1,908	1,161
7	かごしま県民交流センター	鹿児島市	4,401	590
8	SSプラザ川内	薩摩川内市	1,727	1,220
	(薩摩川内市川内駅コンペンションセンター)	別生/手/川下孔川	1,121	1,220
9	鹿児島大学	鹿児島市	_	_

### 3 対象施設の選定について(海外施設)

海外施設については、以下の理由により、5施設を抽出して調査を実施する。

No.	施設名/所在国•地域	対象設定理由
1	シドニー国際会議場 /オーストラリア	港湾エリアに立地する会議場・展示場から構成される複合施設。周辺の観光施設との一体感がある。規模感や都市環境条件は異なるが、立地条件に本県と類似性があると考えられる。
2	香港会議展覧中心 /香港	港湾エリアに立地する会議場・展示場から構成される複合施設。中国本土の玄関口であることから堅調な需要があり、アジアで最も引き合いの多い人気 MICE 施設のひとつ。
3	アルティス・アリーナ /ポルトガル	港湾エリアに立地する会議場・展示場から構成される複合施設。リスボン空港から 10 分という好立地。1998 年に設置されたあと 2013 年に改装を行い、マーケティン グ面でも強化を図っている。
4	高雄展覧館/台湾	2014年に設置された新しい展示施設。鹿児島とは経済規模などの都市条件も近く、 行政(高雄市経済局)によるプロモーション手法など参考にすべき点が多い。
5	サンテック国際会議場 /シンガポール	シンガポールの中心地に位置する,アジアを代表する MICE 施設。かつてリークアンユー首相(当時)により国策として設置されシンガポールの成長を支えたが,IR (統合型リゾート) 導入によって近隣施設との競合状況が激化する中,優れた経営手腕で立ち直った。経営面で学ぶべき点の多い施設。

### 4 調査結果(県外施設概要調査)

# (1) 調査対象 67 施設の概要

本調査は各施設,自治体などのWebサイト,予算書,指定管理評価書,運営団体の決算書などの公表資料をもとに作成し、一部の項目についてはヒアリング等を行い補足している。

図表1-5 調査対象67施設の概要

14	四次1 3 嗣且/7家の 心成の例女								
施設	施設正式名称	愛称	施設区分		王地	開業年	立地区分	運営手法	
No.				都道府県	市町村		(※1)	(※2)	
1	札幌コンベンションセ ンター		コンベンション	北海道	札幌市	2003年	郊外	指定管理(民間)	
2	札幌流通総合会館	アクセスサッポロ	展示	北海道	札幌市	1984年	郊外	財団方式	
3	青森産業会館	青森市産業展示館	展示	青森県	青森市	1991年	郊外	財団方式	
4	岩手産業文化センター	アピオ	展示	岩手県	盛岡市	1985年	郊外	指定管理(民間)	
5	仙台国際センター		コンベンション	宮城県	仙台市	1991年	駅前	指定管理(民間)	
6	みやぎ産業交流セン ター	夢メッセみやぎ	展示	宮城県	仙台市	1995年	郊外	財団方式	
7	山形国際交流プラザ	山形ビッグウイング	展示	山形県	山形市	1994年	郊外	財団方式	
8	福島県産業交流館	ビッグパレットふくし ま	展示	福島県	郡山市	1998年	郊外	財団方式	
9	つくば国際会議場	EPOCHAL TSUKUBA	コンベンション	茨城県	つくば市	1999年	中心市街地	財団方式	
10	栃木県立宇都宮産業展 示館	マロニエプラザ	展示	栃木県	宇都宮市	1988年	郊外	指定管理(民間)	
11	群馬コンベンションセ ンター	Gメッセ群馬	展示	群馬県	高崎市	2020年	郊外	指定管理(民間)	
12	埼玉県産業文化セン ター	ソニックシティ	音楽ホール	埼玉県	さいたま市	1988年	駅前	財団方式	
13	千葉県日本コンベン ションセンター国際展 示場	幕張メッセ	展示	千葉県	千葉市	1989年	駅前	第3セクター方式	
14	東京国際展示場	東京ビッグサイト	展示	東京都	江東区	1996年	駅前	第3セクター方式	
15	横浜国際平和会議場	パシフィコ横浜	コンプレックス	神奈川県	横浜市	1991年	駅前	第3セクター方式	
16	新潟コンベンションセ ンター	朱鷺メッセ	コンプレックス	新潟県	新潟市	2003年	中心市街地	第3セクター方式	
17	富山国際会議場	大手町フォーラム	コンベンション	富山県	富山市	1999年	中心市街地	第3セクター方式	
18	富山産業展示館	テクノホール	展示	富山県	富山市	1983年	郊外	財団方式	
19	石川県産業展示館		展示	石川県	金沢市	1972年	郊外	財団方式	
20	福井県産業会館		展示	福井県	福井市	1980年	郊外	財団方式	
21	山梨県立産業展示交流 館	アイメッセ山梨	展示	山梨県	甲府市	1995年	郊外	財団方式	
22	林友ホール		貸会議室	長野県	松本市	1988年	郊外	民営	
23	長良川国際会議場		コンベンション	岐阜県	岐阜市	1995年	郊外	指定管理(民間)	
24	セラミックパーク MINO		展示	岐阜県	多治見市	2002年	郊外	財団方式	
25	静岡県コンベンション アーツセンター	グランシップ	音楽ホール	静岡県	静岡市	1999年	駅前	財団方式	
26	静岡産業支援センター	ツインメッセ静岡	展示	静岡県	静岡市	1982年	郊外	財団方式	
27	浜松市総合産業展示館		展示	静岡県	浜松市	1971年	郊外	指定管理(民間)	
28	名古屋国際会議場		コンベンション	愛知県	名古屋市	1990年	駅前	指定管理(民間)	
29	名古屋市国際展示場	ポートメッセなごや	展示	愛知県	名古屋市	1973年	郊外	指定管理(民間)	
30	愛知国際展示場	Aichi Sky Expo	展示	愛知県	常滑市	2019年	駅前	コンセッション	
31	国立京都国際会館		コンベンション	京都府	京都市	1966年	駅前	財団方式	
32	京都市勧業館	みやこめっせ	展示	京都府	京都市	1996年	中心市街地	第3セクター方式	
33	大阪府立国際会議場	グランキューブ大阪	コンベンション	大阪府	大阪市	2000年	中心市街地	第3セクター方式	
34	ナレッジキャピタルコ ングレコンベンション センター		コンベンション	大阪府	大阪市	2013年	駅前	民営	
35	大阪国際見本市会場	インテックス大阪	展示	大阪府	大阪市	1985年	 駅前	 財団方式	
-55	神戸国際会議場・展示	神戸コンベンションセ		> NAME:	75//2/19	1000-	נון איי		
36	場	ンター(No.38との一体名称)	コンプレックス	兵庫県	神戸市	1981年	駅前	指定管理(民間)	

施設				所在	主地		立地区分	運営手法	
No.	施設正式名称	愛称	施設区分	都道府県	市町村	開業年	(※1)	(*2)	
37	姫路市文化コンベン ションセンター	アクリエひめじ	音楽ホール	兵庫県	姫路市	2021年	駅前	指定管理(民間)	
38	ポートピアホール	神戸コンベンションセ ンター(No.36との一体名称)	ホテル	兵庫県	神戸市	1997年	駅前	民営	
39	兵庫県立淡路夢舞台国 際会議場		コンベンション	兵庫県	淡路市	2000年	郊外	第3セクター方式	
40	奈良県コンベンション センター		コンベンション	奈良県	奈良市	2020年	中心市街地	指定管理(PFI)	
41	奈良春日野国際フォー ラム 甍〜I・RA・KA 〜		コンベンション	奈良県	奈良市	1987年	中心市街地	公営	
42	米子コンベンションセ ンター	ビッグシップ	コンベンション	鳥取県	米子市	1998年	駅前	財団方式	
43	島根県立産業交流会館	くにびきメッセ	コンベンション	島根県	松江市	1993年	中心市街地	財団方式	
44	岡山コンベンションセ ンター	ママカリフォーラム	コンベンション	岡山県	岡山市	2001年	駅前	第3セクター方式	
45	岡山県総合展示場	コンベックス岡山	展示	岡山県	岡山市	1991年	郊外	指定管理(民間)	
46	広島国際会議場		コンベンション	広島県	広島市	1989年	中心市街地	財団方式	
47	広島コンベンション ホール		貸会議室	広島県	広島市	2018年	中心市街地	民営	
48	広島県立広島産業会館		展示	広島県	広島市	1970年	郊外	財団方式	
49	山口県国際総合セン ター	海峡メッセ下関	コンベンション	山口県	下関市	1996年	中心市街地	財団方式	
50	徳島県立産業観光交流 センター	アスティとくしま	展示	徳島県	徳島市	1993年	郊外	財団方式	
51	高松シンボルタワー	※サンポートホール高松、かが わ国際会議場などから構成	音楽ホール	香川県	高松市	2004年	駅前	指定管理(民間)	
52	香川県産業交流セン ター	サンメッセかがわ	展示	香川県	高松市	1994年	郊外	指定管理(民間)	
53	愛媛国際貿易センター	アイテムえひめ	展示	愛媛県	松山市	1996年	郊外	第3セクター方式	
54	高知ぢばさんセンター		展示	高知県	高知市	1984年	郊外	指定管理(民間)	
55	福岡コンベンションセ ンター	※福岡国際会議場、マリンメッ セ福岡、福岡国際センターで構 成	コンプレックス	福岡県	福岡市	1981年	郊外	財団方式	
56	博多国際展示場&カン ファレンスセンター		展示	福岡県	福岡市	2021年	中心市街地	民営	
57	西日本総合展示場・北 九州国際会議場		展示	福岡県	北九州市	1977年	駅前	財団方式	
58	アクロス福岡		音楽ホール	福岡県	福岡市	1995年	中心市街地	財団方式	
59	長崎ブリックホール		音楽ホール	長崎県	長崎市	1998年	駅前	指定管理(民間)	
60	出島メッセ長崎		コンベンション	長崎県	長崎市	2021年	駅前	指定管理(PFI)	
61	熊本城ホール		音楽ホール	熊本県	熊本市	2019年	中心市街地	指定管理(民間)	
62	熊本産業展示場	グランメッセ熊本	展示	熊本県	益城町	1998年	郊外	指定管理(民間)	
63	別府国際コンベンショ ンセンター	ビーコンプラザ	コンベンション	大分県	別府市	1995年	中心市街地	指定管理(民間)	
64	KITENビルコンベン ションホール		貸会議室	宮崎県	宮崎市	2011年	駅前	民営	
65	シーガイアコンベン ションセンター		ホテル	宮崎県	宮崎市	1994年	郊外	民営	
66	エムアールティ・ミッ ク		貸会議室	宮崎県	宮崎市	1984年	中心市街地	民営	
67	沖縄コンベンションセ ンター		コンベンション	沖縄県	宜野湾市	1987年	郊外	指定管理(民間)	

#### ※1 立地区分については以下を基準として整理している。

駅前	鉄道(軌道・バスは除く)駅から概ね5分圏内または駅からペデストリアンデッキ等特別なアクセス経路が設定されている施設
中心市街地	鉄道駅周辺ではないが,いわゆる「繁華街エリア」や「官庁(オフィス)街エリア」に立地する施設
郊外	それ以外の郊外に立地する施設(軌道やバス、車でのアクセスが想定されるエリア)

#### ※2 運営区分に関する補足

財団方式や第3セクター方式には、仕組み上は指定管理などの扱いとなっているものも含んでいる(財団や第3セクターが民間との競争を行い選定されている場合も含まれている)。行政の施設運営への関与のあり方を明確にするため、純粋に民間に委託しているケースとは分けて整理した。なお、コンソーシアムの場合は、代表企業で判断している。また、財団法人は広義では第3セクターに含まれるが、今回は財団法人かその他の第3セクターかで分類した。

#### (2) 施設区分

MICE 施設は、その形態が幅広く、施設ごとに特性が大きく異なっている。そのため、傾向を整理するために、その施設の目的や特性を踏まえて施設の区分を作成し、整理した。なお、明確な基準がないことから、各施設の設置目的や Web サイト、開催されている催事などを総合的に勘案して、整理している。

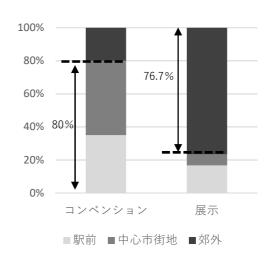
区分	概要
コンベンション	コンベンションの開催を主目的とした施設
(20 施設)	コン・ソフョンの開催を土白助とした地紋
展示	展示会の開催を主目的とした,大規模な平土間を持つ施設
(30 施設)	iking of the care
コンプレックス	コンベンション施設と展示施設が一体的に整備され、ホテルなども併設
(4 施設)	された総合型施設
音楽ホール	コンサートなどの音楽系の文化イベントを開催することを主目的とし
(7 施設)	たホールを中心に整備され,会議室等を併設することでコンベンション
(1)他改	などを開催している施設
ホテル	ナニュウの宮会担かいに叛士で佐郎
(2 施設)	ホテル内の宴会場などに類する施設
貸会議室	ビルインカンファレンスなど,小規模な貸会議室や貸スペース(概ね会
(4 施設)	場合計が 2,000 ㎡未満のもの)

### (3) 施設の立地

コンベンション施設は駅前や中心市街地に立地する比率が高く (80.0%), 展示施設は郊外の比率が高い (76.7%)。これは、コンベンション施設が主に域外の来場者を想定するため、公共交通の便が比較的良い場所に整備されるのに対し、展示施設は域内の来場者が中心で、自家用車での来場が想定され、駐車場の整備も含め比較的広い面積を必要とすることが多いためと考えられる。

図表1-6 立地傾向

	駅前	中心市街地	郊外
コンベンション	7施設	9施設	4施設
20施設	35.0%	45.0%	20.0%
展示	5施設	2施設	23施設
30施設	16.7%	6.7%	76.7%
コンプレックス	2施設	1施設	1施設
4施設	50.0%	25.0%	25.0%
音楽ホール	5施設	2施設	0施設
7施設	71.4%	28.6%	0.0%
ホテル	1施設	0施設	1施設
2施設	50.0%	0.0%	50.0%
貸会議室	1施設	2施設	1施設
4施設	25.0%	50.0%	25.0%
合計	21施設	16施設	30施設
67施設	31.3%	23.9%	44.8%



### (4) 施設の所管

本調査対象の67施設については、公共が関与している施設が全体の約88%を占めており、 具体的な所管は、都道府県がやや多く、次いで市町村が所管している施設が多い。また、形態 は様々ではあるが、その他の区分には、例えば、県と市などが合同で所管していたり、施設内 で区画を分けて所管していたりする施設が含まれている。

図表1-7 所管の傾向 国, 1施設, その他, 6施設, 1% 9% 民間,8施設, 都道府県 12% 30施設, 45% 市町村,22 公共関係施設(約88%) 施設,33%

■国 ■都道府県 ■市町村 ■民間 ■その他

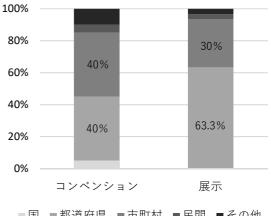
施設区分ごとに分けて整理した場合、所管しているのは、コンベンション施設については 都道府県・市町村でほぼ半々であり、展示施設については都道府県の割合が多くなっている。

展示施設が都道府県の所管となるケースが比較的多いのは、元々展示施設は県内の産業振 興に資する事業(展示会)を実施するための施設という位置づけで整備されてきたためであ る。一方で、コンベンション施設は開催都市(市町村)に比較的大きな効果をもたらすコン ベンションを誘致する目的で整備をしてきたという、催事の特性による影響があるものと考 えられる。

ただし、各都道府県と市町村の財政状況や置かれている背景などによって、それぞれ考え 方が異なる点は、留意が必要である。

	国	都道府県	市町村	民間	その他
コンベンション	1施設	8施設	8施設	1施設	2施設
20施設	5.0%	40.0%	40.0%	5.0%	10.0%
展示	0施設	19施設	9施設	1施設	1施設
30施設	0.0%	63.3%	30.0%	3.3%	3.3%
コンプレックス	0施設	1施設	2施設	0施設	1施設
4施設	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
音楽ホール	0施設	2施設	3施設	0施設	2施設
7施設	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%
ホテル	0施設	0施設	0施設	2施設	0施設
2施設	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
貸会議室	0施設	0施設	0施設	4施設	0施設
4施設	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
合計	1施設	30施設	22施設	8施設	6施設
67施設	1.5%	44.8%	32.8%	11.9%	9.0%

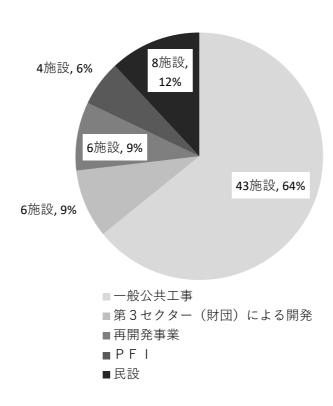
区分ごとの所管の傾向 図表1-8



■国 ■都道府県 ■市町村 ■民間 ■その他

#### (5) 施設の整備手法

MICE 施設の整備は、一般的な公共工事として整備されていることが多く(約 64%)なっている。PFI 事業や再開発事業など、より民間の関与が高い整備手法を採用したものは、約 15%と数は少ないが、出島メッセ長崎、奈良県コンベンションセンター(いずれも PFI 事業として整備)、パシフィコ横浜ノース、マリンメッセ福岡 B 館(いずれも増設となる施設を PFI 事業として整備)、熊本城ホール(再開発事業の一環として整備)と、近年整備された施設では導入されるケースが出てきている。



図表1-9 整備手法の傾向

施設の一部(増設部分等)がPFI事業のものも,PFIに分類している。

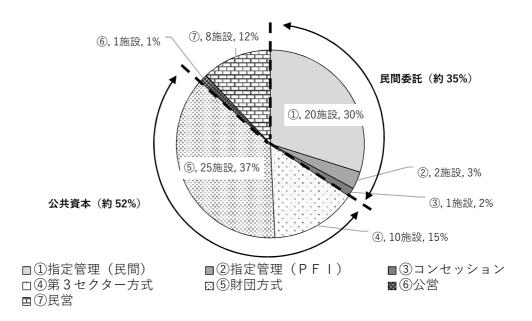
財団等の第3セクターが資金を捻出して整備した施設を、第3セクター(財団)による開発に分類している。(ただし、資金の調達先は考慮せず、出捐元が 自治体等の行政機関である場合も含まれている。)

<sup>※</sup> 整備手法に関する補足

#### (6) 施設の運営手法

MICE 施設の運営は、様々な手法がとられている。第3セクターや財団などの公共資本の入った団体による運営が全体の半数以上(約52%)を占めており、次いで指定管理やコンセッションといった民間への委託が多く約35%となっている。

近年新たに整備された施設では、PFI 事業の一環としての指定管理やコンセッション方式など、委託期間が長期間になるものも出てきている。



図表1-10 運営手法の傾向

#### ※ 運営手法に関する補足

財団方式や第3セクター方式には、仕組み上は指定管理などの扱いとなっているものも含んでいる(財団や第3セクターが民間との競争を行い選定されている場合も含まれている)。行政の施設運営への関与のあり方を明確にするため、純粋に民間に委託しているケースとは分けて整理した。なお、コンソーシアムの場合は、代表企業で判断している。また、財団法人は広義では第3セクターに含まれるが、今回は財団法人かその他の第3セクターかで分類した。

### (7) 施設の規模構成等の一覧

施設の規模としては、会場合計が500 ㎡程度の施設から120,000 ㎡まで幅広く、室構成も数室程度の施設から60 室弱を有する施設まで幅が広い。附帯設備等の傾向については、次以降で整理する。

図表1-11 施設の規模構成等の一覧

2 3 4 5 6 7	施設名 札幌コンペンションセンター 札幌流通総合会館 青森産業会館	最大会場 面積(㎡) 2,607 5,000 2,596	会場合 面積(㎡) 5,697 5,832	主 室数 19 8	駐車場 (台数) 475 1,100	飲食施設 (席数) 100 230	宿泊施設の隣接	設備
1 2 3 4 5 6 7	札幌コンペンションセンター 札幌流通総合会館 青森産業会館	2,607 5,000	5,697	19	475	100	の隣接	
2 3 4 5 6 7	札幌流通総合会館 青森産業会館	5,000						0
3 4 5 6 7	青森産業会館		5,832	8	1,100	230		
4 5 6 7		2 5 9 6						
5 6 7	出る主要 ナル しょう	2,550	2,676	5	250			
6 7	岩手産業文化センター	3,600	5,747	16	2,500	44		0
7	仙台国際センター	3,000	6,841	14	464	96		0
	みやぎ産業交流センター	7,500	11,107	19	1,440	70		
8	山形国際交流プラザ	3,830	5,410	13	1,000	50		0
U	福島県産業交流館	5,495	7,685	12	844	150		0
9	つくば国際会議場	1,258	4,796	19	78	110		0
10	栃木県立宇都宮産業展示館	2,665	3,384	6	500	85		
11	群馬コンベンションセンター	10,000	13,515	11	1,918			
12	埼玉県産業文化センター	2,505	8,094	41	140	60		0
	千葉県日本コンベンションセンター国際展示場	54,000	80,822	39	5,500	550	0	
	東京国際展示場	66,140	120,525	33	411	1,801		0
_	横浜国際平和会議場	20,000	39,996	58	1,154	552	0	0
	新潟コンベンションセンター	7.800	10.999	14	1,800	335	0	0
_	富山国際会議場	825	1,692	10	1,300	40	0	0
						40	0	0
	富山産業展示館	3,634	7,592	11	1,000			
	石川県産業展示館	6,675	17,718	5	3,500	7.0		-
	福井県産業会館	2,046	4,691	7	1,000	70		
	山梨県立産業展示交流館	4,860	5,072	2	1,150			
	林友ホール	287	554	2	150			
23	長良川国際会議場	1,684	2,753	9	189	0	0	0
24	セラミックパークMINO	2,237	2,979	6	320	48		0
25	静岡県コンベンションアーツセンター	4,626	11,148	28	400	90		0
26	静岡産業支援センター	5,400	12,469	15	600	300		
27	浜松市総合産業展示館	1,920	4,108	5	400			
28	名古屋国際会議場	3,012	11,142	29	638	470		0
29	名古屋市国際展示場	13.870	36,217	16	1,000	1,100		0
	愛知国際展示場	50,000	62,110	20	3,447	285		
	国立京都国際会館	3,000	15.755	57	200	220	0	0
	京都市勧業館	4,000	10,241	16	163	70		
	大阪府立国際会議場		-			533	_	
_		2,600	8,616	28	304		0	0
	ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター	1,700	3,000	10	0	0	0	0
	大阪国際見本市会場	10,535	72,992	38	2,880	434	0	_
	神戸国際会議場・展示場	3,800	17,731	32	1,613	100	0	0
	姫路市文化コンベンションセンター	4,000	8,027	14	400	16	0	
	ポートピアホール	1,702	1,702	1	0	0	0	0
	兵庫県立淡路夢舞台国際会議場	582	2,676	20	600	368	0	0
	奈良県コンベンションセンター	2,100	4,370	16	400	0	0	
41	奈良春日野国際フォーラム 甍~I・RA・KA~	508	3,140	18	30			0
42	米子コンベンションセンター	1,897	3,633	12	700	80		0
43	島根県立産業交流会館	4,018	6,557	23	441			0
44	岡山コンベンションセンター	745	2,948	15	256	200	0	0
45	岡山県総合展示場	3,797	8,839	13	1,500	200		0
	広島国際会議場	1,504	3,784	14	18			0
	広島コンベンションホール	722	1,921	11			0	_
	広島県立広島産業会館	2,565	5,643	6	456	180	-	0
	山口県国際総合センター	1,873	4,279	12	181	91	0	0
	徳島県立産業観光交流センター	3,000	4,690	10	534	6		0
	高松シンボルタワー	1,500	3,963	19	916	0	0	0
_			5,883	8	1,700	20		
	香川県産業交流センター	4,015						
	愛媛国際貿易センター	4,500	7,518	12	750	40		
	高知ぢばさんセンター	3,000	3,512	5	800			
	福岡コンベンションセンター	8,000	23,055	34	1,289	270	0	0
	博多国際展示場&カンファレンスセンター	2,986	7,615	24	103			
	西日本総合展示場・北九州国際会議場	8,000	19,250	27	607	194	0	0
	アクロス福岡	1,867	4,127	19	116	0		0
_	長崎ブリックホール	2,002	2,949	10	135			0
60	出島メッセ長崎	3,800	8,920	29	393	0	0	0
'	熊本城ホール	2,304	6,546	24	437	0	0	
	熊本産業展示場	8,000	8,898	4	2,200	120		
61				12	646			0
61 62	別府国際コンベンションセンター	2,756	5,930	12	040			
61 62 63	別府国際コンベンションセンター	2,756 285			040	0	0	
61 62 63 64	別府国際コンベンションセンター KITENビルコンベンションホール	285	515	5		0	0	
61 62 63 64 65	別府国際コンベンションセンター				O 250	0	0	0

<sup>※</sup> 会場合計には、控室、応接室、商談室、ホワイエ、ラウンジなどで会場と不可分の施設や練習室など MICE 利用の難しい施設、屋外施設を含んでいない。

<sup>※</sup> 駐車場・飲食施設については,一体的に整備された併設の施設内にも駐車場や飲食施設がある場合は「〇」をつけている。

<sup>※</sup> 宿泊施設の隣接は、敷地内に併設されているケースの他、道路を挟んで向かい側などの極めて至近の距離に立地している場合も含んでいる。

<sup>※</sup> 同時通訳設備の有無は、同時通訳機材が施設の専用機材としてある場合(持込は除く)や同時通訳プースが常設されている場合などについて設備有としている。

#### (8) 施設の構成

2施設

貸会議室

4施設 合計

67施設

MICE 施設全体では、室構成の傾向には特定の偏りは見られない。コンベンション施設は、比較的主たる会場以外の室数が多く、概ね 11 室以上は設けられている。展示施設は、ばらつきはあるものの、10 室以下の施設が半数を占めている。コンベンション施設では多数の会場が必要となる催事が多いのに対し、展示施設では主たる会場以外は、セミナーや商談など限られた需要はあるものの、コンベンション施設ほどの数は必要としないためと考えられる。

図表1-12 室構成の傾向(主たる会場以外の室数)

6-10室 11-15室 16-20室 21室以上 0-5室 8施設 5施設 コンベンション 0施設 3施計 4施設 25.09 0.0% 15.09 40.0% 20.0% 20施設 展示 9施設 6施設 8施設 2施設 5施設 30施設 30.0% 20.0% 26.7% 6.7% 16.7% コンプレックス 1施設 0施設 3施設 4施設 0.0% 0.0% 25.0% 0.0% 75.0% 音楽ホール 0施設 1施設 1施設 2施設 3施設 0.0% 14.3% 14.3% 28.6% 7施設 42.9% 1施設 0施設 1施設 0施設 0施設 ホテル

0.0%

1施設

25.0%

11施設

16.4%

50.0%

0施設

0.0%

19施設

28.4%

0.0%

0施設

0.0%

8施設

11.9%

50.0%

3施設

75.0%

13施設

19.4%

100% 80% 11 室以上 60% 85% 40%

■ 0-5室 ■ 6-10室 ■ 11-15室 ■ 16-20室 ■ 21室以上

コンベンション

50%

展示

面積で見た場合には、全体では概ね主たる会場の 2 倍までに収まっている。コンベンション施設は主たる会場と同じ面積以上(係数 1 以上)の会場が用意されているが、展示施設は主たる会場より少ない面積(係数 1 未満)しか用意していない施設が多いことがわかる。これも室数と同様、コンベンション施設と展示施設で利用される催事の特性によるものと考えられる。

20%

0%

0.0%

0施設

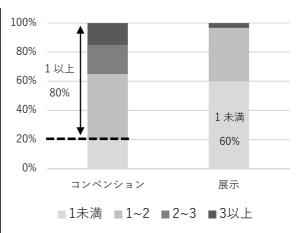
0.0%

16施設

23.9%

図表1-13 主たる会場面積を1とした場合のそれ以外の会場面積の比率

	1未満	1~2	2~3	3以上
コンベンション	4施設	9施設	4施設	3施設
20施設	20.0%	45.0%	20.0%	15.0%
展示	18施設	11施設	0施設	1施設
30施設	60.0%	36.7%	0.0%	3.3%
コンプレックス	2施設	1施設	0施設	1施設
4施設	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
音楽ホール	1施設	5施設	1施設	0施設
7施設	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
ホテル	2施設	0施設	0施設	0施設
2施設	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
貸会議室	3施設	1施設	0施設	0施設
4施設	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
合計	30施設	27施設	5施設	5施設
67施設	44.8%	40.3%	7.5%	7.5%



#### (9) 施設の附帯設備

#### ア 駐車場

駐車場はほとんどの施設で用意されているが、コンベンション施設は 500 台未満が多く (75%) を占めるのに対し、展示施設は 1,000 台以上を確保している施設が多い (約 53%) ことがわかる。これはコンベンション施設が比較的域外からの利用者が多く駅前等、交通利便性の高い場所に設置されていることが多いのに対し、展示施設の利用者は域内利用者が比較的多いため、車での来場を見込んで駐車場を確保できる郊外に設置するケースが多いためと考えられる。

500台未満 500~1000台 1000台以上 併設施設に有 100% コンベンション 0施設 15施設 4施設 0施設 1施設 1000 台 20施設 0.0% 75.0% 20.0% 0.0% 5.0% 80% 以上 展示 0施設 7施設 7施設 16施設 0施設 60% 53.3% 23.3% 53.3% 30施設 0.0% 23 3% 0.0% 500 台 0施設 0施設 コンプレックス 0施設 4施設 ()施武 40% 未満 0.0% 0.0% 0.0% 100.0% 0.0% 4施設 音楽ホール 0施設 6施設 1施設 0施設 0施設 20% 75% 7施設 0.09 85.7% 14.3% 0.0% 0.0% 0% ホテル 0施設 0施設 0施設 0施設 2施設 コンベンション 展示 2施設 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 100.0% 2施設 2施設 0施設 0施設 0施設 貸会議室 ■なし ■500未満 0.0% 4施設 50.0% 50.0% 0.0% 0.0% **■**500~1000 ■1000以上 合計 2施設 30施設 12施設 20施設 3施設 ⊯併設施設に有 67施設 44.8% 17.9% 29.9% 4.5%

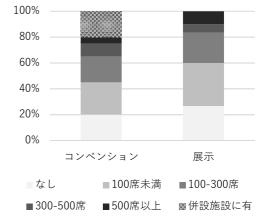
図表1-14 駐車場の台数の傾向

### イ 飲食施設

飲食施設は全体としては設置されているケースが比較的多い。飲食施設の規模感は、コンベンション施設でも展示施設でも傾向に明確な差異はなく、各施設における需要やコンセプトに応じて、設置されているものと考えられる。

500席以上 100席未満 100-300席 300-500席 併設施設に有 なし コンベンション 20.0% 25.0% 20.0% 10.0% 5.0% 20.0% 展示 8施設 10施設 7施設 2施設 3施設 0施設 30施設 26.7% 33.3% 23.3% 6.7% 10.0% 0.0% コンプレックス 0施設 0施設 2施設 1施設 1施設 0施設 25.0% 4施設 0.0% 0.0% 50.0% 25.0% 0.0% 音楽ホール 1施設 3施設 0施設 0施設 0施設 3施設 0.0% 7施設 14.3% 42.9% 0.0% 0.0% 42.9% 0施設 0施設 0施設 0施設 0施設 2施設 ホテル 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 100.0% 2施設 貸会議室 3施影 0施影 0施影 0施影 0施設 1施設 0.0% 0.0% 0.0% 75.0% 0.0% 25.0% 16施設 18施設 13施設 5施設 5施設 10施設 合計 67施設 23.9% 26.9% 19.4% 7.5% 7.5% 14.9%

図表1-15 飲食施設の席数の傾向

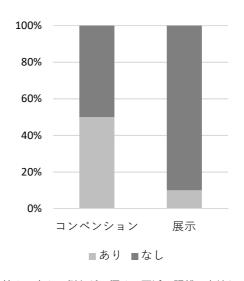


#### ウ 宿泊施設の隣接

宿泊施設の隣接の傾向は、全体では隣接されていない場合が多い。コンベンション施設では隣接した宿泊施設の有無はほぼ半々となっている。しかし、展示施設は宿泊施設が隣接しているケースが極めて少ない(10%)ことがわかる。これは展示施設が郊外に立地していることや、比較的域内利用者が多く、宿泊を伴う来場が少ないためと考えられる。

あり なし コンベンション 10施設 10施設 20施設 50.0% 50.0% 27施設 展示 3施設 10.0% 90.0% 30施設 コンプレックス 4施設 0施設 100.0% 4施設 0.0% 音楽ホール 3施設 4施設 7施設 42.9% 57.1% ホテル 2施設 0施設 100.0% 0.0% 2施設 貸会議室 2施設 2施設 4施設 50.0% 50.0% 24施設 43施設 67施設 64.2% 35.8%

図表1-16 宿泊施設の隣接の傾向



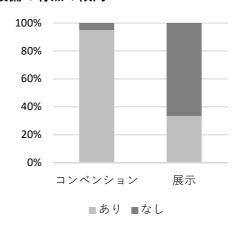
※宿泊施設の隣接は、敷地内に併設されているケースの他、道路を挟んで向かい側などの極めて至近の距離に立地している場合も含んでいる。

#### エ 同時通訳設備の有無

約 6 割の MICE 施設が、国際会議に対応しやすい同時通訳に関する何らかの設備(同時通訳ブースや同時通訳用の機材など)を用意している。特にコンベンション施設ではほとんどの施設で設定されている。これはコンベンション施設が国際会議での利用を想定して設置されているためであると考えられる。

	あり	なし
コンベンション	19施設	1施設
20施設	95.0%	5.0%
展示	10施設	20施設
30施設	33.3%	66.7%
コンプレックス	4施設	0施設
4施設	100.0%	0.0%
音楽ホール	5施設	2施設
7施設	71.4%	28.6%
ホテル	2施設	0施設
2施設	100.0%	0.0%
貸会議室	0施設	4施設
4施設	0.0%	100.0%
合計	40施設	27施設
67施設	59.7%	40.3%

図表1-17 同時通訳設備の有無の傾向



<sup>※</sup>同時通訳設備の有無は、同時通訳機材が施設の専用機材としてある場合(持込は除く)や同時通訳ブースが常設されている場合などについて設備有としている。

#### (10) 施設の収支状況

施設の運営収支(施設の指定管理者の収支や施設を運営する財団等の収支を参考に作成している)は、施設全体としての構成や収益構造によっても異なるものであるため、傾向としての評価しかできないが、公表されている値が確認できた37施設については、全体としては赤字となっている施設の方がやや多い。

また,黒字施設のほとんどは「政令指定都市」に立地しており,本県が分類される「その他」では,赤字(または行政支出を除いた場合は赤字となる実質赤字)が多い傾向にある。

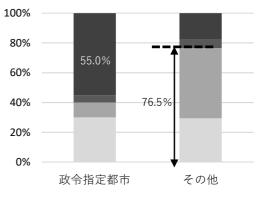
施設区分別では、展示施設の方が収支状況はやや良いことがわかる。これは各施設の事情にもよるところであるが、人口などが多くイベント開催ニーズの大きい政令指定都市等の都市圏にある展示場が黒字となっているほか、施設の構成上「手間」が少ない展示施設の方が運営コストを比較的抑えられることなどが理由として考えられる。

図表1-18 MICE 施設の収支状況の傾向 <都市区分別 >

	赤字	実質赤字	収支均衡	黒字	新設または非公表
政令指定都市	6施設	2施設	1施設	11施設	11施設
20施設	30.0%	10.0%	5.0%	55.0%	-
その他	5施設	8施設	1施設	3施設	19施設
17施設	29.4%	47.1%	5.9%	17.6%	_
合計	11施設	10施設	2施設	14施設	30施設
37施設	29.7%	27.0%	5.4%	37.8%	-

※特別区は政令指定都市に含む

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数

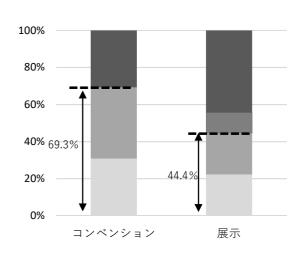


■赤字 ■実質赤字 ■収支均衡 ■黒字

図表1-19 MICE 施設の収支状況の傾向<施設区分別>

	赤字	実質赤字	収支均衡	黒字	新設または非公表
コンベンション	4施設	5施設	0施設	4施設	7施設
13施設	30.8%	38.5%	0.0%	30.8%	-
展示	4施設	4施設	2施設	8施設	12施設
18施設	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%	-
コンプレックス	1施設	1施設	0施設	1施設	1施設
3施設	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	-
音楽ホール	2施設	0施設	0施設	1施設	4施設
3施設	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	-
ホテル	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
貸会議室	0施設	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
合計	11施設	10施設	2施設	14施設	30施設
37施設	29.7%	27.0%	5.4%	37.8%	-

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数



■赤字 ■実質赤字 ■収支均衡 ■黒字

### (11) 施設への行政支出

施設への指定管理料などの行政支出(年間)は、公表されている値が確認できた 49 施設については、「政令指定都市」の施設では支出していないケース(独立採算)が多い(68%)一方で、本県が分類される「その他」では多くの施設(79.2%)で行政支出が行われている。

また、施設区分別にみると、「展示施設」では行政支出がない方がやや多いことがわかる。 なお、指定管理者評価書などに記載の指定管理料や施設運営財団などの財務諸表をもとに 作成しているため、純粋な施設運営に係る部分以外を対象とした行政支出が含まれている場合もある。

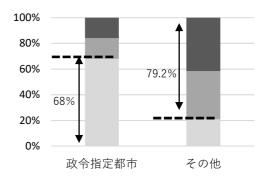
また、実質的な行政負担である土地や建物の無償貸付や貸付料の減免のほか、年間のランニングコストではない財団への出捐や第三セクターへの出資、その他大規模修繕費などは考慮していない。

図表1-20 行政支出(年間額)の傾向<都市区分別>

	なし	4千万~1億円未満	1億円以上	新設または非公表
政令指定都市	17施設	4施設	4施設	6施設
25施設	68.0%	16.0%	16.0%	_
その他	5施設	9施設	10施設	12施設
24施設	20.8%	37.5%	41.7%	_
合計	22施設	13施設	14施設	18施設
49施設	44.9%	26.5%	28.6%	_

※特別区は政令指定都市に含む

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数

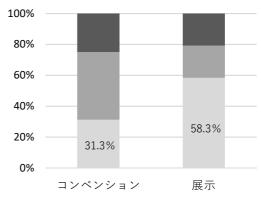


■なし ■4千万~1億円未満 ■1億円以上

図表1-21 行政支出(年間額)の傾向<施設区分別>

	なし	4千万~1億円未満	1億円以上	新設または非公表
コンベンション	5施設	7施設	4施設	4施設
16施設	31.3%	43.8%	25.0%	_
展示	14施設	5施設	5施設	6施設
24施設	58.3%	20.8%	20.8%	_
コンプレックス	2施設	1施設	1施設	0施設
4施設	50.0%	25.0%	25.0%	_
音楽ホール	1施設	0施設	4施設	2施設
5施設	20.0%	0.0%	80.0%	_
ホテル	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	-	_	-	_
貸会議室	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	_	_	_	_
合計	22施設	13施設	14施設	18施設
49施設	44.9%	26.5%	28.6%	_

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数



■なし ■4千万~1億円未満 ■1億円以上

#### (12) 施設の稼働率

施設の稼働率については、公表されている値が確認できた 45 施設について、都市区分別で見た場合、「政令指定都市」については、稼働率 70%を超える施設が半数以上(52.2%)を占めているのに対し、「その他」では半数(50%)が稼働率 50%未満となっている。施設区分別では、特徴的な差異は見られない。

なお、各施設の稼働率については、各施設の公表データをもとに作成しているが、稼働率の 算出基準が施設ごとに異なるため、あくまで参考値である点は考慮されたい。

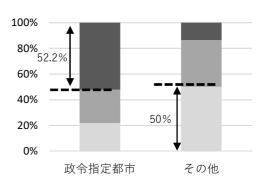
また、施設全体の稼働率を公表している施設はその値を、会場ごとに公表している施設は公表されているうち最も規模の大きい主たる会場の値を使用し、2010年から2019年の平均値(その期間中特定の年しか公表されていない施設は公表されている範囲での平均値)で算出している。

図表1-22 稼働率の傾向<都市区分別>

	50%未満	50-70%未満	70%以上	新設または非公表
政令指定都市	5施設	6施設	12施設	8施設
23施設	21.7%	26.1%	52.2%	_
その他	11施設	8施設	3施設	14施設
22施設	50.0%	36.4%	13.6%	_
合計	16施設	14施設	15施設	22施設
45施設	35.6%	31.1%	33.3%	_

※特別区は政令指定都市に含む

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数

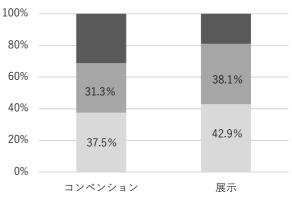


■50%未満 ■50-70%未満 ■70%以上

図表1-23 稼働率の傾向<施設区分別>

	50%未満	50-70%未満	70%以上	新設または非公表
コンベンション	6施設	5施設	5施設	4施設
16施設	37.5%	31.3%	31.3%	-
展示	9施設	8施設	4施設	9施設
21施設	42.9%	38.1%	19.0%	-
コンプレックス	1施設	1施設	2施設	0施設
4施設	25.0%	25.0%	50.0%	-
音楽ホール	0施設	0施設	4施設	3施設
4施設	0.0%	0.0%	100.0%	-
ホテル	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	-	-	-	-
貸会議室	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	-	-	-	-
合計	16施設	14施設	15施設	22施設
45施設	35.6%	31.1%	33.3%	-

※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数



■50%未満 ■50-70%未満 ■70%以上

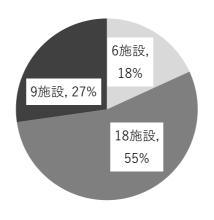
#### (13) 施設の稼働率の新型コロナウイルス感染拡大前後の比較

2019 年度と 20 年度の各施設(当該年度の稼働率の公表されている値が確認できた 33 施設)の稼働率を比較して、稼働率の減少幅を整理した。19 年度と 20 年度の稼働率を公表している施設について、(12)と同様の基準で稼働率を整理している。

全体では、公表している全ての施設の稼働率が減少しており、25%から49%減少した施設が約半数(55%)を占めている。

都市区分別の比較では、政令指定都市にある施設の方が下げ幅は大きくなっている。これは元々の稼働率が政令指定都市の施設の方が高かったことに加え、緊急事態宣言発令の期間の長さなども含め、大都市以外の方が、比較的新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なかったという側面もあると考えられる。施設区分別では、大きな傾向の差異は見られない。

図表1-24 新型コロナウイルス感染症拡大の稼働率への影響(全体)



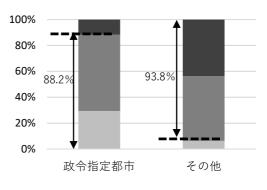
■50%以上 ■25-49% ■25%未満

図表1-25 新型コロナウイルス感染症拡大の稼働率への影響(都市区分別)

	50%以上	25-49%	25%未満	新設または非公表
政令指定都市	5施設	10施設	2施設	14施設
17施設	29.4%	58.8%	11.8%	_
その他	1施設	8施設	7施設	20施設
16施設	6.3%	50.0%	43.8%	-
合計	6施設	18施設	9施設	34施設
33施設	18.2%	54.5%	27.3%	_

※特別区は政令指定都市に含む

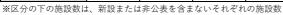
※区分の下の施設数は、新設または非公表を含まないそれぞれの施設数

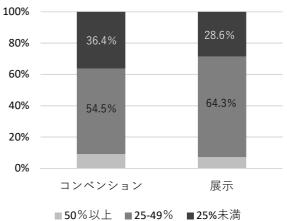


■50%以上 ■25-49% ■25%未満

図表1-26 新型コロナウイルス感染症拡大の稼働率への影響(施設区分別)

	50%以上	25-49%	25%未満	新設または非公表
コンベンション	1施設	6施設	4施設	9施設
11施設	9.1%	54.5%	36.4%	-
展示	1施設	9施設	4施設	16施設
14施設	7.1%	64.3%	28.6%	-
コンプレックス	2施設	1施設	1施設	0施設
4施設	50.0%	25.0%	25.0%	_
音楽ホール	2施設	2施設	0施設	3施設
4施設	50.0%	50.0%	0.0%	_
ホテル	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	-	-	_	_
貸会議室	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	_	-	-	_
合計	6施設	18施設	9施設	34施設
33施設	18.2%	54.5%	27.3%	_





#### (14) 施設の整備費 (建築費)

施設の整備費(各自治体などの公表資料や調査資料などで値が確認できた 39 施設) につい ては、施設の規模や立地、施設として有する機能、複合的な開発の一部かなど、様々な要素に よって影響されるため、単純な金額による整理においては、明確な傾向差はみられない。

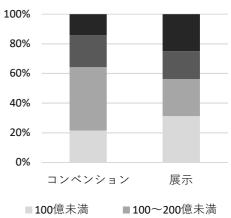
一方で,延床面積 1 m<sup>3</sup>当たりの整備費については、コンベンション施設の方がやや高い施 設が多く、展示施設の方が整備費は抑えられる傾向にある。これは展示施設が大規模な平土 間空間を中心にシンプルな機能であることが多いのに対し、コンベンション施設は諸室の数 も多く、様々な機能が施設に盛り込まれることが多いため、総じて必要となるコストが多く なるためと考えられる。

なお、コンベンション施設や展示施設は、複合施設の一部として整備されているケースも ある上に、施設によって機能等も大幅に異なる。そのため、整備費や延床面積の前提となる諸 条件が各施設によって大幅に異なるため、あくまで参考値として整理するものである。

図表1-27 整備費の傾向(金額ベース) 単位:円

(円)	100億未満	100~200億未満	200~300億未満	400億以上	不明または非公表
コンベンション	3施設	6施設	3施設	2施設	6施設
14施設	21.4%	42.9%	21.4%	14.3%	-
展示	5施設	4施設	3施設	4施設	14施設
16施設	31.3%	25.0%	18.8%	25.0%	-
コンプレックス	0施設	0施設	1施設	1施設	2施設
2施設	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	-
音楽ホール	1施設	1施設	4施設	1施設	0施設
7施設	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	-
ホテル	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	_	_	_	_	-
貸会議室	0施設	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	_	-	-	-	-
合計	9施設	11施設	11施設	8施設	28施設
39施設	23.1%	28.2%	28.2%	20.5%	-
※区分の下の施設数は	t. 新設または	非公表を含ま	ないそれぞれ	の施設数	



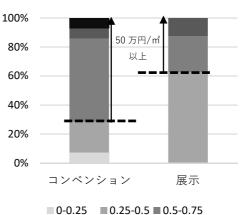


■200~300億未満 ■400億以上

図表1-28 整備費の傾向(㎡単価(延床)ベース) 単位:百万円

(百万円)	0-0.25	0.25-0.5	0.5-0.75	0.75-1	1.25-1.5	不明または非公表
コンベンション	1施設	3施設	8施設	1施設	1施設	6施設
14施設	7.1%	21.4%	57.1%	7.1%	7.1%	-
展示	0施設	10施設	4施設	2施設	0施設	14施設
16施設	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	-
コンプレックス	0施設	1施設	0施設	1施設	0施設	2施設
2施設	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	-
音楽ホール	1施設	2施設	2施設	2施設	0施設	0施設
7施設	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	-
ホテル	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設
0施設	-	-	-	-	-	-
貸会議室	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	4施設
0施設	-	-	-	-		-
合計	2施設	16施設	14施設	6施設	1施設	28施設
39施設	5.1%	41.0%	35.9%	15.4%	2.6%	-



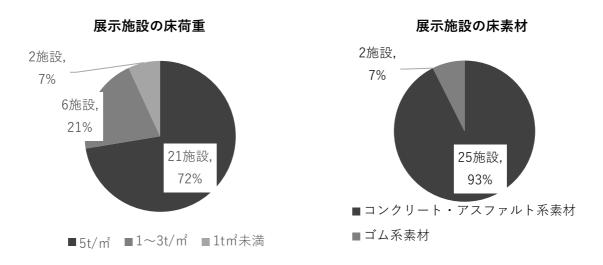


■ 0.75-1 ■ 1.25-1.5

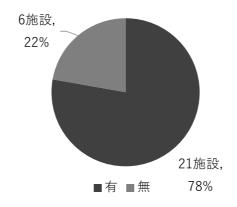
### (15) 展示施設における特徴的な設備

展示施設 30 施設における,展示機能として重要な特徴的な機能の傾向について整理した。 展示施設のうち仕様等を公表している施設については,多くの施設(72%)が床荷重 5 t/㎡以上 であり,全ての施設がコンクリート・アスファルト系またはゴム系の床素材となっている。ま た,8 割弱 (78%) の施設に,床下ピットと呼ばれる,電源や給排水,ガスなど(具体的な設 置機能は施設によって異なる)との接続部を床下に配置した機能が備わっている。

図表1-29 展示施設の特徴的な設備



### 展示施設の床下ピットの整備状況



#### 5 調査結果(県外施設詳細調査)

(1) コンベンション及び展示会の開催状況(コンベンション及び展示会による稼働状況)

詳細調査対象施設(17 施設)について,公表されている各施設のイベントカレンダー(2019年開催分)を分析し、コンベンション及び展示会など催事の開催比率(会期ベース)を算出した。公表されているイベントカレンダーは主催者が非公表を希望する催事などは含まれていないため、あくまで参考値として整理している。施設特性ごとの傾向を示すため、コンベンション施設(長良川国際会議場、島根県立産業交流会館、岡山コンベンションセンター、沖縄コンベンションセンター)、展示施設(福島県産業交流館、岡山県総合展示場、愛媛国際貿易センター、熊本産業展示場)、コンプレックス施設(横浜国際平和会議場、新潟コンベンションセンター、福岡コンベンションセンター)に区分して整理した。

なお、詳細調査対象施設のうち群馬コンベンションセンター、富山国際会議場、富山産業展示館、奈良県コンベンションセンター、出島メッセ長崎、熊本城ホールについては、新設やデータ非公表のため、対象に含んでいないことから、11 施設での分析となる。

コンベンション施設では、「その他」が7割近く(約68%)となっており、次いで展示会が多い構成となっている。展示会が多くなるのは今回抽出した施設の特性(展示会が開催できる部屋を備え、周辺環境(アクセス面やエリア内の他施設の状況)的に展示会場としてのニーズが高い)と、展示会は毎年同じ場所で開催されることが多く、施設として固定需要として見込みやすく、積極的な利用促進をしていることなどが考えられる。

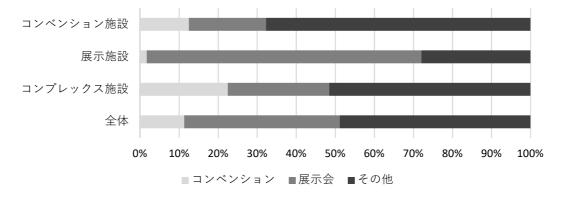
展示施設は、展示会の比率が 7 割と高く、これは施設が展示会の開催に特化した特徴を持っているため、他の催事では利用しづらいことによるものと考えられる。

コンプレックス施設は、比較的都市規模が大きく、コンベンションの開催件数も多い都市 に立地しているため、コンベンションの比率が他よりは高くなっていると考えられる。

展示施設以外は、「その他」の比率が高くなっており、MICE 施設では必ずしもコンベンションや展示会といった需要だけで稼働を満たしているのではなく、地元の企業や行政団体、市民の利用が施設の稼働を下支えしていると考えられる。

コンベンション 展示会 その他 コンベンション施設 12.5% 19.7% 67.8% 70.3% 27.9% 展示施設 1.7% コンプレックス施設 22.5% 26.0% 51.6% 全体 11.3% 39.8% 48.9%

図表1-30 詳細調査対象施設の催事の比率の傾向



各施設の平均稼働率に催事の比率の割合をかけて、コンベンション及び展示会による稼働率を算出した。施設によって稼働率の公表方法が異なるため、あくまで目安となる各施設の稼働率に催事の比率を催事の規模(実際に利用した部屋数など)を考慮せずにかけた値であるため、あくまで参考値として算出している。

比率同様,展示施設の展示会を除いて,コンベンションや展示会は施設の稼働自体については,大きなウェイトを占めておらず,施設の運営(稼働)においては,地元の企業や行政,市民の利用が下支えしていると考えられる。

図表1-31 コンベンション及び展示会による稼働率

	コンベンション	展示会
コンベンション施設	7.5%	10.1%
展示施設	0.8%	37.1%
コンプレックス施設	16.8%	19.6%
全体	7.6%	22.5%

### (2) 関係自治体との MICE 誘致における連携・分担の状況

MICE 誘致に関して、自治体内で主に施設が担っている役割について整理した。各施設の事業報告書、指定管理等の仕様書、各自治体やコンベンションビューローの情報などをもとに整理している。

多くの施設が自治体やコンベンションビューローと連携しながら誘致の取組みを行っており、例えば展示会への共同出展や共同でのセールス活動を行っている。

図表 1 - 3 2 各施設の関係自治体との MICE 誘致における役割分担等

45-75	台ル政の民际日心体との WICL 訪女にわりる反割力担守
施設名	連携や役割分担
福島県産業交流館	県内産業の発展に資する事業を行うことを目的とする、公益財団法人福島県産業振興センターが指定管理者として運営を担っている。産業振 興の一環として、県と共催で展示会を実施するなどしている。また、郡山コンペンションビューローなどの関係機関と合同でのセールス活動
<b>抽局尔庄未义</b> 派贴	中の一項として、来て大価で扱い去を実施するなどしている。また、都田コンペンクヨンとユーローなどの関係機関と古向てのセールス/A到 やIME(国際MICEエキスポ)への出展などを行っている。
	指定管理者に対して、要求水準書において次の取組を求めている。
	①交流人口を増加させ、新たな人やモノの流れを生み出し、本県経済の発展につなげるため、県内利用者に加えて、県外利用者の獲得を図
	8.
	②展示会・見本市等への出展,参加。
群馬コンベンションセンター	③新規の催物を誘致するとともに,定期的かつ継続的な利用を確保するため,催物の主催者に対し営業等を行うこと。また,料金表の送付や
	見積の作成,提示を行うこと。
	④ Gメッセ群馬の利用を促すため、催物の主催者の見学案内や主催者・関係者との情報交換を行うこと。
	⑤関連団体の会合や研修会等へ参加するとともに、他施設で開催される展示会やイベント等の視察や業界紙等の購読により情報収集を行うこ。
	と。 独自のセールスチームを持ち,積極的な誘致活動を行っている。海外展示会などにも独自に出展をしている。また,コンベンションについて
横浜国際平和会議場	は、主催者の誘致経費を最大300万円まで支援する独自の誘致支援サービスを持っている(パシフィコ横浜国際コンベンション支援プログラ
DEPCHIN 1 THE BEAU	(A) .
#*****	独自にターゲットを設定し誘致活動を行うとともに,ホテル日航新潟,行政・コンベンション協会との共同誘致を行っている。また,地元マ
新潟コンベンションセンター	スメディアと連携してイベントの開催なども行っている。
富山国際会議場	富山コンペンションビューローや行政と連携した誘致活動を行っている。
富山産業展示館	国際的な見本市や全国規模の学会については,利用料の滅免制度がある。
	観光コンペンション協会とともに「世界イベント村ぎふ サポートプログラム説明会」を実施したり、「国際MICEエキスポ(IME)」に出展し
長良川国際会議場	てプロモーションを行っている。また、岐阜大学での「MICEセミナー」や、名古屋大学での誘致チラシの配布なども実施。IMEに合わせて都
	内の看護や福祉, 科学分野の学会事務局の訪問も行っている。 指定管理者に対して、要求水準書において次の取組を求めている。 事業者は、コンペンション・イベントの誘致にあたり、誘致活動の年次計
奈良県コンベンションセンター	指定管理者に対して、要求水準書において次の収組を求めている。事業者は、コンヘンション・1 ヘンドの誘致にのだり、誘致活動の平次計画書を策定し毎年県と協議により定めた期日までに県に届け出、計画について県と協議し効果的な業務を実施すること。県及び一般財団法人
示及宗コンペンクョンセンメー	<b>画音を求足し時十末と励識によりためた州日よくに末に周り出,計画に が、て末と励哉し別末りな来がを失悲すること。末次じ一放州日広へ</b> 奈良県ビジターズビューローは、コンベンション・イベント誘致のための営業活動や広報活動について可能な範囲で協力を行うものとする。
	コンペンションビューロー部門と施設部門が同じ法人内にあり、連携しながら誘致活動を行っている。コンペンションビューローでは、主催
島根県立産業交流会館	団体の直接訪問営業や展示会への出展などのほか,「くにびきメッセファンクラブ」を組織化し,リビーター化などにつながる取組も行って
	ುತ್ತ
岡山コンベンションセンター	指定管理者に対して,仕様書において次の取組を求めている。
岡田コンペンフョンセンダー	コンベンション,展示会,会議等の催事に関する情報収集及び情報提供並びに誘致業務(利用促進のための顧客獲得など)。
岡山県総合展示場	指定管理者に対して、仕様書において次の取組を求めている。
	利用促進及び利用者増への取組を行うこと。また、それに伴い年間2~3件程度の自主企画事業(展示会)を主催している。
愛媛国際貿易センター	複数の自主企画イベント(展示会)を開催しているほか,各種メディアや企業,自治体と積極的に協業して,イベントを開催している。また,松山観光コンベンション協会や旅行代理店との協業でコンベンションの誘致を行ったり,周年企業への営業なども行っている。
	市やコンベンションビューローと連携して、各大学や首都圏・関西圏への学会事務局等へ訪問し、誘致に積極的に取り組んでいるほか、海外
福岡コンベンションセンター	MICE見本市への共同出展なども行っている。展示会については、リピーター営業のほか、福岡市のMICE戦略における重点分野(新産
	業/クリエイティブ産業/医療・医学/スポーツ/食)の展示会・見本市等の誘致にも取り組んでいる。
山白マルト巨林	指定管理者に対して,要求水準書において次の取組を求めている。
出島メッセ長崎	MICE事業者は,一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会等,地域と連携し,MICE施設へのMICE誘致活動を行うこと。
	指定管理者に対して、仕様書において次の取組を求めている。
	施設の設置目的を最大限に達成するため,本市や関係団体と連携して,国際会議,学術会議,展示会,演奏会その他エンターテインメント等
	(以下、総称して「催事等」という。) に関する次の業務を行う。 ((4) 歴史の出版、出来日本の人の大学によるのでは、19 世界の出版を表現の出版を表現します。 2 世界の出版を表現します。 2 世界の出版を表現します。 2 世界の出版を表現しません。 2 世界の出版を表現します。 3 世界の出版を表現します。 4 世界の生物を表現します。 4 世界の生物を表現ります。 4 世界の生物を表現を表現を表現ります。 4 世界の生物を表現を表現を表現する。 4
	(1) 情報の収集 関連団体の会合や研修会等への参加, 他施設で開催される催事等の視察や業界紙等の購読あるいは主催者等関係者への接触等により, 催事等の開催情報の早期収集を行うこと。また, 収集した情報を分析して主催者等のニーズを把握するとともに, 分析結果に基づく
熊本城ホール	により、他争等の誘致戦略を策定すること。 各権事等の誘致戦略を策定すること。
	(2) 情報の提供 策定した誘致戦略に基づき、催事等の主催者との接触を図り、見学案内等を通じてホールの情報提供を行うとともに、主催
	者・関係者との情報交換を行うこと。
	(3) 誘致 誘致戦略に基づき、催事等の主催者への積極的な訪問等を行い、新規の催事等を誘致するとともに、定期的・継続的な利用を確保す
	ること。また、誘致に当たっては広域的な誘致活動を視野にいれるものとする。
	指定管理者に対して、仕様書において次の取組を求めている。
	《産業展示場での催事等誘致業務》
熊本産業展示場	指定管理者は、産業展示場で開催する催事等を県内外から誘致することとし、誘致する催事等は県の産業振興又は県民の文化の向上に資する 催事等とします。
熊 <b>华</b> 性 耒 展 不 場	催争等とします。 《公益性が高い見本市. 催事等又は産業振興等に資する見本市. 催事等への支援及び主催業務≫
	※ 公益性が高い見本市、催事等人は産業振興又は県民の文化の向上に資する見本市、催事等を自主企画事業として支援し、又は主催すること
	とします。
	指定管理者に対して,仕様書において次の取組を求めている。
	沖縄MICE振興戦略に基づき、沖縄の特性や優位性を活かしたMICEの誘致を推進すること。
	●具体的な誘致活動
	(a) IME (国際ミーティングエキスポ)等への出展
	(6) 県外でのセールス活動の実施(年3回以上)
沖縄コンベンションセンター	(c) 国際観光振興機構,日本コングレス・コンベンションビューロー及び大学等での各種会議,学会等の情報収集,キーパーソンへの営業活動の実施
	の実施 (d) 既利用者への施設情報の提供,ダイレクトメール等による営業活動等リピーターの確保
	(e) 国際会議場施設協議会等への参加による意見交換及び情報収集
	(f) 沖縄県東京事務所国際会議誘致班等の県外事務所MICE誘致担当、県内外の観光関係団体又は地域との連携
	(g) 国、県が誘致する会議について、会場下見への対応、必要な情報の提供等の協力
	(h) その他MICE誘致に関すること

### (3) 周辺施設との連携・役割分担

周辺施設との連携状況について、各施設の過去の開催実績などから、大規模コンベンションなどの場合において、併せて利用されている施設について整理した。

大規模コンベンションでは、分科会などの会場として他の周辺施設やホテルを併用する場合がある。また、レセプションについては、規模に限らず、(4)で整理する各施設内での実施以外にも、ホテル等で実施されているケースも多い。レセプションをいずれで実施するかは、会の趣旨や主催者の予算に拠るところが大きい。

周辺施設が併用される場合、隣接している施設が優先的に利用される傾向が強いが、施設の立地状況や域内の施設の整備状況等によっては、比較的離れた施設が利用されるケースもある。ただし、非隣接の場合は、参加者の移動手段の確保が大きな課題となるため、シャトルバスの借上げ費用の助成などを行っている自治体もある。

展示場は、一部を除いて基本的に単独で完結するケースが多い。

図表1-33 大規模催事等において各施設と併せて使用されることの多い施設等

	主に連携して利用される周辺施設						
施設名	会場 (公共)	会場(ホテル)	レセプション (ホテル)	宿泊施設(来場者の宿泊施設としてよく利用されているエリア)			
福島県産業交流館	けんしん郡山文化センター(約 3km)や郡山市中央公民館(約 3.5km)など(コンベンションで 会場が不足する場合)	-	ホテルハマツ (約4.5km) , 郡山 ビューホテル (約3.5km) など	郡山中心市街地(約3~5km)			
<b>詳馬コンベンションセンター</b>		-	ホテルメトロポリタン高崎(約 1.5km)など ※新規開業のため 想定される施設	高崎駅前(約1.5km)			
<b>黄浜国際平和会議場</b>	-	ヨコハマ グランド インターコンチ ネンタル ホテル(隣接)	ヨコハマ グランド インターコンチ ネンタル ホテル (隣接) , 横浜ベ イホテル東急 (約500m) など				
新潟コンベンションセンター	-	ホテル日航新潟(隣接)	ホテル日航新潟 (隣接) , ANAクラウンプラザホテル新潟 (約 1km) など	万代島周辺エリアから新潟駅(約 2km)の範囲			
富山国際会議場	富山市民プラザ(約200m),富山 県民会館(約500m)など(コンベ ンションで会場が不足する場合)		ANAクラウンプラザホテル富山 (隣接)など	施設周辺(中心市街地)から富山 駅前(約2km,路面電車で結ばれ ている)にかけて			
富山産業展示館	-	-	-	富山駅周辺(約8km)			
長良川国際会議場	ぎふ清流文化プラザ(ホール等を備えた文化施設)、 岐阜メモリアルセンター(体育施設), 長良川スポーツブラザ(宿泊型合宿施設)について、「世界イベント村ぎふ」というコンセプトで周辺施設との連携を岐阜観光コンペンション協会が中心となって推進している。	都ホテル岐阜長良川(隣接)	都ホテル岐阜長良川(隣接)など	隣接の都ホテル岐阜長良川のほか、岐阜駅前(約4.5km)			
奈良県コンベンションセンター	なら100年会館(約1.5km)(コン ベンションで会場が不足する場	Wマリオットホテル奈良(隣接), ホテル日航奈良(約 1.5km) ※新規開業のため想定 される施設	JWマリオットホテル奈良 (隣接), ホテル日航奈良 (約1.5km) など ※新規開業のため 想定される施設	隣接のJWマリオットホテル奈良 ほか、最寄りの新大宮駅前から近 鉄奈良駅前(約2km)にかけて			
島根県立産業交流会館	松江テルサ(約800m) (コンベン ションで会場が不足する場合)	松江エクセルホテル東急(約 700m)	松江エクセルホテル東急(約 700m)など	松江駅周辺(約700m)			
岡山コンペンションセンター	岡山シティミュージアム (隣接), 岡山県医師会館 (隣接),	ANAクラウンプラザホテル岡山 (隣接),ホテルグランヴィア岡 山(約800m)	ANAクラウンプラザホテル岡山 (隣接),ホテルグランヴィア岡 山(約800m)など	岡山駅周辺(至近)			
岡山県総合展示場	-	_	_	倉敷駅周辺(約7.5km),岡山駅 周辺(約11km)			
愛媛国際貿易センター	-	_	-	松山駅周辺(約5km)			
福岡コンベンションセンター	-	福岡サンパレス ホテル&ホール (隣接)	福岡サンパレス ホテル&ホール (隣接),博多周辺のシティホテ ルなど	中心市街地(天神エリア,約2km) から博多駅(約2.5km)にかけて			
出島メッセ長崎	長崎ブリックホール(約2km) ※新規開業のため想定される施設	ヒルトン長崎(隣接) ※新規開 業のため想定される施設	ヒルトン長崎(隣接)など ※新 規開業のため想定される施設	長崎駅周辺(至近)			
熊本城ホール	熊本市民会館(約500m), 熊本市 国際交流会館(約500m) ※新規 開業のため想定される施設		ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ(約1km), ホテル 日航熊本(約1.5km)など ※新 規開業のため想定される施設	施設周辺(中心市街地)から熊本駅(約2km,路面電車で結ばれている)にかけて			
	+						
<b>熊本産業展示場</b>	-	_	_	熊本駅周辺(約12km)			

周辺の飲食店や商店街との連携について、各施設や関係自治体・コンベンションビューローの取組を整理した。

周辺の飲食店のマップを作成するなど独自の取組を行っている施設もあるが、エクスカーション時のバス借上助成など、自治体やコンベンションビューローなどで行われる取組が中心であることが多い。

図表1-34 各施設の周辺施設との連携・役割分担等

₩₹₽₽₽	周辺施設との利用促進策									
施設名	飲食施設	商店街(まちとの回遊性の確保)								
福島県産業交流館	周辺に商業施設があり、来場者が飲食等で利用するケース はある。	郡山コンベンションビューローが市内のガイドマップ等を 配布している。								
群馬コンベンションセンター	-	群馬県コンベンションビューローがガイドマップ等を配布 している。エクスカーション実施時に利用可能なバス借上 費用助成金がある。								
横浜国際平和会議場	みなとみらい21共通飲食券(株式会社横浜国際平和会議場 (パシフィコ横浜)が発行する飲食券で、みなとみらい21 地区を中心とする加盟飲食店約230店舗でご利用でき る。)	みなとみらい一日乗車券やみなとぶらりチケットなどの周 遊チケットを施設窓口で販売している。また, 旅行業を取 得し, 県内スポットを巡るツアーなども実施している。								
新潟コンベンションセンター	館内(複合施設内)の飲食施設については,専用のマップ を作成して提供している。	新潟観光コンベンション協会がエクスカーション助成制度 を実施。市内の観光施設・商業施設(お土産店等)を1箇 所以上含む視察見学ツアーを企画した場合に利用可能とな る。								
富山国際会議場	富山コンベンションビューローが食べ飲みマップを作成し 配布している。	富山コンベンションビューローがMICE開催に合わせたインフォメーションデスクを設置したり、マップを配布するなどして、周辺利用を促進している。								
富山産業展示館	_	-								
長良川国際会議場	-	岐阜観光コンベンション協会にエクスカーション等貸切観 光バス利用時にバス借上費用助成金がある。								
奈良県コンベンションセンター	奈良県ビジターズビューローが飲食店も含む周辺マップを 作成し配布している。	奈良県ビジターズビューローが近隣店舗も含む周辺マップ を作成し配布している。								
島根県立産業交流会館	_	_								
岡山コンベンションセンター	西口活性化協議会という周辺施設との連携団体に加盟し, まち歩き(グルメ)MAPを作成し配布しているほか, イベ ントなども実施している。また施設で地元の酒蔵と連携し て地酒の通信販売等を行っている。	西口活性化協議会という周辺施設との連携団体に加盟し、 まち歩き(グルメ)MAPを作成し配布しているほか、イベ ントなども実施している。また施設で地元の酒蔵と連携し て地酒の通信販売等を行っている。								
岡山県総合展示場	-	-								
愛媛国際貿易センター	-	-								
福岡コンベンションセンター	福岡観光コンベンションビューローが「目利きグルメガイド」を作成し配布している。	福岡観光コンベンションビューローが「目利きグルメガイド」を作成し配布している。								
出島メッセ長崎	周辺施設で利用可能な割引券の配布などの取り組みを行っている。また長崎観光コンペンション協会では、最初の晩餐というMICE参加者向けの飲食店紹介Webサイト等の構築も行っている。	長崎観光協会が中心となって「まちMICE」というコンセプトのもと,まち全体に広がる面的な展開を推進している。								
熊本城ホール	熊本国際コンベンション協会がグルメマップを作成し配布 している。	熊本国際コンベンション協会がガイドマップ等を配布して いる。エクスカーション実施時に利用可能なバス借上費用 助成金がある。								
熊本産業展示場	-	-								
沖縄コンベンションセンター	_	沖縄観光コンベンションビューローがガイドブック等を配布している。エクスカーション実施時などに利用可能なバス借上費用助成金がある。								

# (4) 飲食を伴うレセプションの実施方法 (実施施設, 飲食物の提供方法)

各施設のレセプション時の飲食物の提供方法等を整理した。いずれの施設もケータリング (弁当を含む)で提供している。また、ほとんどの会場で飲食の提供を可としている(例外的 に固定席の会場等についてのみ、不可または要相談というケースがある)。提供事業者につい ては、指定業者が決まっているケースと主催者自身が自由に手配可能な施設に分かれている。

図表1-35 各施設のレセプション時の飲食物の提供方法等

施設名	提供方法	業者区分
福島県産業交流館	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
	t	CONTROL MATERIAL BY STATE THE CONTROL OF THE FACE
群馬コンベンションセンター	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
横浜国際平和会議場	ケータリング	指定業者(周辺ホテル)
		事業者紹介、手配可(周辺ホテル、
新潟コンベンションセンター	ケータリング	ケータリング事業者、弁当業者等)
		(持込も可)
富山国際会議場	ケータリング	指定業者(周辺ホテル、ケータリン
田山岡你去成物	7 7727	グ事業者、弁当業者等)
富山産業展示館	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
長良川国際会議場	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
奈良県コンベンションセンター	ケータリング	指定業者
島根県立産業交流会館	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
W.L > - * > - > - 4	ケータリング	指定業者(周辺ホテル、ケータリン
岡山コンベンションセンター	7-8922	グ事業者、弁当業者等)
岡山県総合展示場	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
愛媛国際貿易センター	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
福岡コンベンションセンター	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
		事業者紹介、手配可(周辺ホテル、
出島メッセ長崎	ケータリング	ケータリング事業者、弁当業者等)
		(持込も可)
熊本城ホール	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)
熊本産業展示場	ケータリング	原則館内レストランで対応
沖縄コンベンションセンター	ケータリング	事業者紹介、手配可(持込も可)

# 6 調査結果(県内施設)

### (1) 県内施設の概要

本調査は各施設,自治体などのWebサイト,予算書,指定管理評価書,運営団体の決算書などの公表資料をもとに作成し、一部の項目についてはヒアリング等を行い補足している。

図表1-36 県内施設の概要

施設	施設正式名称	愛称	所在地	最大会場	会場	会場合計		飲食施設	宿泊施設	同時通訳	立地区分
No.	心故正式右孙	<b>支</b> 你	市町村	面積(m)	面積(m)	室数	(台数)	(席数)	の隣接	設備	(※1)
1	鹿児島アリーナ	西原商会アリーナ	鹿児島市	2,730	3,926	3	233	60			郊外
2	鹿児島県総合体育セン ター体育館		鹿児島市	1,320	2,063	4	87				郊外
3	鹿児島市民文化ホール	川商ホール	鹿児島市	1,990	3,546	5	365	0			郊外
4	鹿児島県文化センター	宝山ホール	鹿児島市	1,522	2,784	11	0	45			中心市街地
5	城山ホテル鹿児島		鹿児島市	1,017	4,305	15	780	0	0		郊外
6	鹿児島サンロイヤルホ テル		鹿児島市	1,161	1,908	5	220	0	0		郊外
7	かごしま県民交流セン ター		鹿児島市	590	4,401	16	500	77			中心市街地
8	薩摩川内市川内駅コン ベンションセンター	SSプラザせんだい	薩摩川内市	1,220	1,727	7	346	120	0		駅前
9	鹿児島大学		鹿児島市	_	-	-	0	0		0	郊外

\*\*1 立地区分については以下を基準として整理している。

駅前	鉄道(軌道・バスは除く)駅から概ね5分圏内または駅からペデストリアンデッキ等特別なアクセス経路が設定されている施設
中心市街地	鉄道駅周辺ではないが、いわゆる「繁華街エリア」や「官庁(オフィス)街エリア」に立地する施設
郊外	それ以外の郊外に立地する施設(軌道やバス、車でのアクセスが想定されるエリア)

<sup>※</sup> 駐車場・飲食施設については、一体的に整備された併設の施設内にも駐車場や飲食施設がある場合は「○」をつけている。

<sup>※</sup> 宿泊施設の隣接は、敷地内に併設されているケースの他、道路を挟んで向かい側などの極めて至近の距離に立地している場合も含んでいる。

<sup>※</sup> 同時通訳設備の有無は,同時通訳機材が施設の専用機材としてある場合(持込は除く)や同時通訳プースが常設されている場合などについて設備有としている。

### (2) 県内施設の開催のすみ分け

県内施設について、施設の特性や開催傾向などを踏まえ、コンベンション及び展示会のす み分けの状況について整理した。

すみ分けを整理するに当たっては、県内を過去の開催実績やヒアリング結果などから、4 つのエリアに区分している。コンベンションが複数施設にまたがって開催される場合は、可 能な限り参加者の移動が少なくなるよう近隣の施設を利用することが多いため、エリア分け を行い整理している。(展示会は複数施設で開催されることはほとんどない。)また、コンベン ションについては、実際には様々な形態が存在しているが、大きく分けて2つの形態に整理 した。全参加者が同一会場に一堂に会してプログラムを行う傾向の強い「式典形式」と、参加 者がプログラムの中から比較的自由に参加会場を選んで進行される「学会形式」に分けて整 理をしている。

その結果, 本県では 3,000 ㎡以上の展示会が可能な施設が不足しているほか, 1,000 名以上 が一堂に集まり、かつ分科会を実施するような式典形式のコンベンションでは、単独で開催 可能な施設が不足している点などが傾向として見られる。すなわち、全員を収容可能な大き な会場と分科会を実施できる小規模な会場がバランスよく配置された施設が不足しているこ とが課題としてみられる。

また、展示施設については、1,000 ㎡以上の規模で開催可能な(利用されている)施設が、 現状西原商会アリーナしかない状況である。

展示会 (m²) 学会形式(名) 式典形式 (名) 1,000 3,000 1,000 3,000 1,000 3,000 500未 500~ 5,000 500未 500~ 5,000 500未 500~ 5,000 施設名 エリア 999 満 999 999 以上 以上 以上 2,999 4,999 2.999 4.999 2.999 4.999 鹿児島県総合体育センター体育館 与次郎 • 川商ホール(鹿児島市民文化ホール)  $\bigcirc$ 0 0 0 エリア 鹿児島サンロイヤルホテル • 0 0 0 0 0 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ) 宝山ホール(鹿児島県文化センター) 城山 . 城山ホテル鹿児島 エリア . かごしま県民交流センター 0  $\bigcirc$ 川内 0 SSプラザ川内(薩摩川内市川内駅コンペンションセンター) 0 0 0 0 0 エリア 鹿児島大学 大学 0

図表1-37 県内施設のすみ分けの状況

<sup>※</sup>物理的な開催可能性ではなく、現状の県内施設の施設特性や開催傾向などからの主なすみ分けの状況として整理をしている。

<sup>○</sup> 単独での開催が想定できる区分

<sup>●</sup> 主にエリア内の他会場での併用を前提に開催が想定できる区分。主会場になり得る施設にマーク。

<sup>※1,000 ㎡</sup>を若干超える規模の平土間の会場を持つ施設(SSブラザ川内,城山ホテル鹿児島,鹿児島サンロイヤルホテル)はあるが,最大 200 ㎡程度の超過で あるためここでは、1,000 ㎡未満として整理している。

#### (3) 県内施設の稼働

県内施設の稼働状況について整理した。一部ヒアリング等によって、数値にはあらわれない部分を補足している。

県内施設の日稼働率は概ね 75%を超え高止まりの傾向を示しており, 土日については, いずれの施設も高稼働になっている。

特に大規模なコンベンションや展示会の受け皿となる体育施設は極めて高い稼働状況であり、新たな需要の取り込みは難しい。ただし、西原商会アリーナについては、一部 MICE の優先予約を受け付けており、稼働率とは関係なく、優先的に需要の取り込みが可能となっている。

一方、中小規模のコンベンションや展示会の受け皿の中心となっているかごしま県民交流センターは、特にギャラリーの稼働に余力がある。また、民間施設(ホテル)は、稼働率は非開示であるが、いずれの施設も先々の予約となるコンベンションや展示会を積極的に受け入れたい意向を示している。加えて、SSプラザ川内は、鹿児島市内の施設が埋まっていて開催できなかった催事の受け皿となることを積極的に意識したいと話しており、県全体では、コンベンションや展示会の更なる受入れについて、既存施設における十分な余力が残されている。

コンベンションや展示会のいずれも、大規模な受入れが可能な西原商会アリーナ(優先予約対応)、中小規模に対応可能なSSプラザ川内、民間施設(ホテル)、かごしま県民交流センターを中心に、幅広い規模でまだ受入余地が残されている状況である。

図表1-38 県内施設の稼働状況

	四秋1 5		「加田文・シーが国が八万万	
施設 No.	施設名	稼働率	稼働率備考	ヒアリング等による補足
1	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	91.1%	H30、メインアリーナ	土日はほぼ100%。ただし,国際、全国、九州 規模のスポーツ大会やMICEを実施するときは 優先的に予約が可能。
2	鹿児島県総合体育センター体育館	91.1%	R1、本館アリーナ	土日はほぼ100%。基本的に体育関係行事が優先されるため、週末に展示会等のイベントが入る余地はほとんどない。
3	  川商ホール(鹿児島市民文化ホール)	73.0%	H30、第1ホール	例外はあるものの,土日はほぼ100%。
	川向が ル (底元岡市以入しか ル)	77.0%	H30、第2ホール	例外はあるものの, 土日はほぼ100%。
4	宝山ホール(鹿児島県文化センター)	84.1%	H30、宝山ホール	例外はあるものの,土日はほぼ100%。
5	城山ホテル鹿児島	ı	民間施設のため、稼働 率は不開示	宴会場の稼働は高く維持する営業努力をしている。ただし、コンベンションや展示会のような 先々の予約は積極的に受け入れられる。
6	鹿児島サンロイヤルホテル	-	民間施設のため、稼働率は不開示	宴会場の稼働は高く維持する営業努力をしている。ただし、コンベンションや展示会のような 先々の予約は積極的に受け入れられる。
		85.7%	H30、3ホール合計	土日はほぼ100%。ただし空きが全くないわけ
7	かごしま県民交流センター		H30、ギャラリー合計 H30、会議室等合計	ではない。ギャラリーについては,比較的稼働に余裕がある。
8	SSプラザ川内 (薩摩川内市川内駅コンベンションセンター)	-	R3年1月開業の新施設 でコロナ禍の影響もあ	コロナ禍での開業ということもあり、稼働状況は余裕がある状態。R3年11月から地元利用中心に徐々に稼働率も高くなってきている。
9	鹿児島大学	-	稼働率という概念が存 在しない	基本的に授業がない日しか教室等の利用はできない。主催する教員が個別に学部事務室等と調整して利用しているため、実態は本部では把握していない。一部講義棟とは別の施設があり、そこは空きがあれば授業日でも利用可能。

### 7 調査結果 (海外施設)

### (1) 海外施設の概要

本調査は各施設,自治体などのWebサイト,運営団体の決算書などの公表資料をもとに作成し、一部の項目についてはヒアリング等を行い補足している。

図表1-39 海外調査施設の概要

施設和名	施設英名	所在国	所在都市	所有者区分	運営者区分	整備区分	開業時期
シドニー国際会議場	International Convention Centre Sydney	オーストラリア	シドニー	州政府	民間	公設民営 ※周辺の商業施設開発とセットにして公的負担 を軽減しており、日本のPFIに近い事業モデル といえる。	2016年
香港会議展覧中心	Hong Kong Convention and Exhibition Centre	香港	香港	政府機関	民間	公設民営	1988年
アルティス・アリーナ	Altice Arena	ポルトガル	リスボン	民間	民間	公設民営(整備後に民間へ売却)	1998年
高雄展覽館	Kaohsiung Exhibition Center	台湾	高雄	政府機関	民間	公設民営	2014年
サンテック国際会議場	Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre	シンガポール	シンガポール	民間	民間	民設民営	1995年

### (2) 海外施設の規模・機能等

各施設の規模・機能等は以下のとおりである。

図表1-40 海外調査施設の規模・機能等

施設和名	敷地面積	延床面積 (㎡)	最大会場 (㎡)	会場合計 (㎡)	宿泊施設 の併設	同時通訳設備	駐車場(台数)	飲食施設	その他付帯施設(商業施設,オフィスなど,同じ建物・敷地内に併設されている機能等)
シドニー国際会議場	不明	240,000	19,043	58,013	0	×	826		施設内ではないが、隣接して一体開発されている商業施設等が周辺に立地している。
香港会議展覧中心	92,400	306,000	19,890	79,249	0	0	1,360	複数のレストラン等飲食店が 設置されている。	一期棟は超高層ビル内にコンペンション・展示 施設が設置されており、ホテル、住宅(コンド ミニアム)、商業施設、香港の産業と物産を紹 介する施設などを併せた複合施設となってい る。 (施設所有者等はコンペンション・展示施 設とは区分されている。)
アルティス・アリーナ	不明	不明	5,200	8,260	×	×	なし(周辺の テージョ公園の 駐車場等を利用 可能)	フードステーション, ジン& トニックバー, パブ, ワイ ンパー, シャンパンバー等の 軽食サービスの店舗が設置さ れている。	施設内にはないが,商業施設等が周辺に多くあ る。
高雄展覧館	45,000	67,000	9,100	21,692	×	0	800	複数のレストラン等飲食店が 設置(テナント)されてい る。	建物の中央がショッピングモールとなっており、20弱の商業テナント(物販・飲食)が入居している。
サンテック国際会議場	不明	不明	12,000	34,561	0	×	複合施設と共用 で多数の駐車場 有	ショッピングモール化したフロアに複数の飲食テナントが入るほか、隣接施設に多数の飲食施設が入居している。	1階、2階をショッピングモールへと改装しているほか、6階のフロアについては宗教法人に長期貸与を行っている。

<sup>※</sup> 会場合計には、控室、応接室、商談室、ホワイエ、ラウンジなどで会場と不可分の施設や練習室など MICE 利用の難しい施設、屋外施設を含んでいない。

<sup>※</sup> 宿泊施設の隣接は、敷地内に併設されているケースの他、道路を挟んで向かい側などの極めて至近の距離に立地している場合も含んでいる。

<sup>※</sup> 同時通訳設備の有無は,同時通訳機材が施設の専用機材としてある場合(持込は除く)や同時通訳プースが常設されている場合などについて設備有としている。

# (3) 海外施設の周辺環境や MICE に関する取組等

各施設の周辺環境や MICE に関する取組の状況は以下のとおりである。

図表 1 – 4 1 海外調査施設の周辺環境や MICE に関する取組等

施設和名	周辺環境(立地場所)	主要駅からのアクセス	MICEの開催状況	MICE誘致の取組
	Sydney Central Business	シドニーライトレール(路面電	33件の主要な国際会議と112の全	運営事業者であるASMグローバル
	District(CBD,シドニー中央ビジ	車)の駅に直結。ターミナル駅で	国大会を開催。年間で64件の展示	社の国際ネットワークなども活用
	ネス地区)の中心部で、シドニー	ある"Central Station"または	会イベントが開催。(2018年度)	しながらセールスを行っている。
シドニー国際会議場	の観光名所が集まったウォーター	"Town Hall Station"から徒歩約10		またシドニーのコンベンション
	フロントエリアであるDarling	分。シドニー国際空港からは車ま		ビューローにあたるBESydneyと
	Harbour (ダーリングハーバー)	たは電車で約20~30分(約		連携しながら誘致活動を行ってい
	に位置している。	10km) 。		る。
	香港の象徴であるビクトリアハー	湾仔駅 (鉄道) より徒歩約10分,	62件の展示会, 64件の会議または	政府観光局や貿易発展局などと連
	バーに面し、ビジネス街の中心部	スターフェリー湾仔埠頭より徒歩	コンベンション(12件の国際会	携しながら様々な誘致活動を行っ
香港会議展覧中心	に位置している。二期棟は埋立地	約5分,湾仔埠頭バスターミナルよ	議,52件のローカル会議),119	ている。
自尼公威政党干心	に建設されている。	り徒歩約5分。香港国際空港からは	件のレセプション,163件の企業イ	
		約40分。	ベント,セミナー,企業(2019年	
			7月1日から2020年6月30日)	
	テージョ川河口に位置する,パル	"Oriente Station"より約400m。	約7万人が訪れるとされる世界最大	
	ケ・ダス・ナソンイス地区に位置	リスボン国際空港から電車で約10	の"Webサミット"の主会場や世界	いるほか,空港からのアクセス利
	する。かつては工業用地で,リス	分。	的に有名なBtoBイベントの	便性を活かして、主に企業イベン
	ボン国際博覧会に合わせて複数の		"Meet@AlticeArena"の会場とし	トで人気の会場としての地位を確
アルティス・アリーナ	施設がつくられた。国際博覧会開		て利用され,世界的な企業イベン	立しようとしている。
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	催後に大規模開発が行われ、周辺		ト(カンファレンスやインセン	
	にオフィスや商業施設・住宅等が		ティブ)で人気のある会場と一つ	
	開発されている。		となっている。またICCA基準の国	
			際会議の会場としても利用されて	
			いる。	
	高雄港の都市再開発エリア「高雄	捷運三区駅(高速鉄道を含むター		
	多功能経済貿易園区」内に位置	ミナル駅)から徒歩約10分。高雄	た。同年の稼働率はExhibition	やInter planグループのネットワー
	し、台湾の貿易拠点の一角として	ライトレール(路面電車)は高雄	Centerが34.3%, conference	ク等を活用し国際展示会などの
	整備された。周辺にはマリーナや	展覧館駅から徒歩約3分。高雄国際	roomsが29.1%となっている。	MICE誘致をはじめ、南台湾の産業
	公園が整備されているほか、市街	空港からは車で約15分, 公共交通		振興につながる事業を積極的に
	地側にはオフィスや商業施設,住	機関で約25分。		行っている。ISO 20121(Event
高雄展覧館	宅などが広がっている。			Sustainability Management
				System)を施設として取得するな
				ど、主催者ニーズに敏感に対応す
				るほか、ICCA総会を開催するな
				ど、展示会だけでなく国際会議の
				誘致でも存在感を出そうと活動し
	3.3.4242 u.m.+ 3.46	<b>イ・トド回際のサルミネイ外の</b>	00105th backstemp ( )	ている。
	シンガポールの中心地である Downtown Coreのサブゾーンに	チャンギ国際空港から車で約20 分、公共交通機関(バス)で約50	2018年時点で毎年恒例のイベントが88件ほどあり、その他年間約	シンガポール政府観光局 (Singapore Tourism Boord
				(Singapore Tourism Board,
	位置するマリーナセンターで開発	分,"Esplanade Station"(鉄道)	1600件のイベントが開催されてい	STB) 内のSingapore Exhibition
	された複合施設Suntec Cityの一部	から徒歩約3分。	<b>3</b> .	& Convention Bureau, SECBと連
サンテック国際会議場	としてサンテック国際会議場は位 第1 ている Suntag Cityはには国			携しながら、誘致活動を行ってい
リノアツク国際宏議場	置している。Suntec City内には国際会議場の他に、 帝業族歌 、ナ			る。またマリーナベイサンズ等の
	際会議場の他に、商業施設、オ			統合型リゾート内の施設との大き な違いとして PhPMAコードに進
	フィス、住宅などが整備されてい			な違いとして、PhRMAコードに準
	る。また隣接してホテルや別の商業体型なども名数立地している			拠する施設として,公益性の高い イベントを中心に積極的に受け入
	業施設なども多数立地している。			
				れている。

### (4) 海外施設の特徴的なポイント

#### ①シドニー国際会議場

シドニー国際会議場が立地するダーリングハーバーはシドニーにおける経済・金融の中心に近く、それらの立地産業に繋がる国際会議などを誘致し、エリアを活性化させるために、シドニー国際会議場が整備された。また港湾エリアに立地し、周辺に公園などが豊富にあることを誘致プロモーションにおいても積極的にアピールしており、開催地としての参加者の満足度を高めることに、施設の立地特性が寄与している。

#### ②香港会議展覧中心

港湾エリアに作られた香港会議展覧中心は開催需要が増加するのに伴い増設しており、2 期棟は埋立地に作られた。土地に限りがある場合でも、港湾地区であれば埋立によって、 必要な施設を追加で整備できるという特性を活かしている。また施設を所管する香港貿易 発展局は、展示会が積極的に開催されるよう、世界中のバイヤーを積極的に呼び込むため に Buyer Loyalty Reward(展示会に来場したバイヤーが来場回数に応じて様々な特典を受 けられるプログラム)を実施している。

#### ③アルティス・アリーナ

アリーナをメインとして、会議場などが併設されている施設で、一般的な会議・展示施設と比べると、MICE 誘致という観点では、本来は難しい立ち位置となるはずの施設である。その中で、施設の強みとなる空港から距離(立地)と施設特性を整理し、大規模なビジネスカンファレンスを中心に、企業イベントに積極的にアプローチすることで、企業イベントで人気の会場としての地位を確立した。

#### ④高雄展覧館

行政による積極的な MICE 誘致の取組みが行われており、例えば高雄市政府主導で「高雄コンベンション連盟」を設立した。連盟には MICE 施設、ホテル、PCO、コンベンション関連団体、学術団体、NGO(非政府組織)、など 170 を超える団体などが所属し、オール高雄体制での MICE 誘致を行っている。

#### ⑤サンテック国際会議場

IR(統合型リゾート)が近隣地に作られ、経営が苦しくなることが想定された際に、施設の一部を商業施設のテナントゾーンに転換したり、一部のフロアを宗教団体の教会として年間を通して貸し出したりするなど、アイデアと工夫で経営を安定化させている。